

平成 24 年度  
流域水循環計画に基づく  
施策の実施状況  
〈北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域〉

平成 25 年 12 月

宮 城 県

— 目 次 —

I	流域水循環計画	1
II	健全な水循環の確保に関する取組の実施状況	4
1	概要	4
2	要素ごとの実施状況	4
(1)	清らかな流れ	4
(2)	豊かな流れ	12
(3)	安全な流れ	14
(4)	豊かな生態系	14
3	水道水源特定保全地域の指定	18
4	流域水循環計画推進会議の開催	19
5	管理指標による状況評価	19
(1)	北上川流域	19
(2)	鳴瀬川流域	20
(3)	名取川流域	20
III	資料	
	関係団体等の取組報告事例	22

# I 流域水循環計画

流域水循環計画は、「ふるさと宮城の水循環保全条例」第12条により策定されるもので、流域における健全な水循環の保全を図ることを目的とし、流域の水循環の課題への対応、流域の上流から下流までが一体となり、県民、民間団体、NPO法人、事業者、関係行政機関等による連携・協働を図っていくための具体的な施策を定めるものである。

計画の推進に当たって、県内を5つの流域に分け、健全な水循環の保全を図る緊急度が高いと認められる流域から順に流域ごとの水循環計画を定めており、鳴瀬川流域水循環計画が平成21年3月に、北上川流域水循環計画及び名取川水循環計画が平成23年1月に策定されている。

それぞれの対象区域は、下図に示すとおりである。


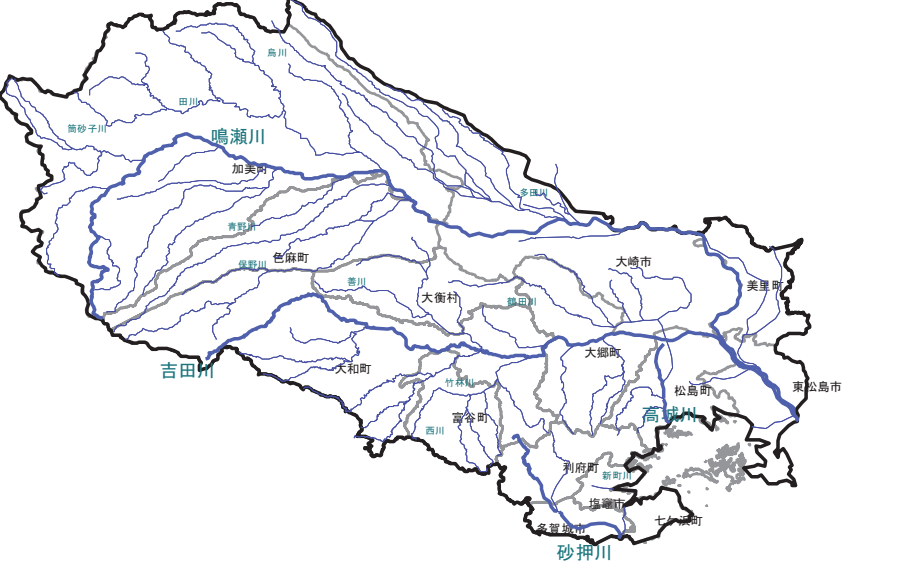
<b>北上川流域</b>		<p><b>【対象区域】</b>          石巻市(一部), 登米市, 栗原市, 東松島市(一部), 大崎市(一部), 涌谷町, 美里町(一部)</p>
<b>鳴瀬川流域</b>		<p><b>【対象区域】</b>          塩竈市, 多賀城市, 東松島市(一部), 大崎市(一部), 松島町, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町, 大郷町, 富谷町, 大衡村, 色麻町, 加美町, 美里町(一部)</p>

図1-1 計画対象流域（北上川・鳴瀬川流域）



【対象区域】  
仙台市，名取市，川崎町

図 1-2 計画対象区域(名取川流域)

流域水循環計画は、健全な水循環の保全を目指し、県民、事業者、行政等がそれぞれ公平な役割分担のもとに、自主的かつ積極的に取り組むための基本的な方向性を示した「宮城県水循環保全基本計画」をもとに策定されている。

この流域水循環計画の中では、それぞれの流域で以下の課題と対応が示されている。

表 1 基本計画における流域の課題と対応

基本計画における流域の課題		課題に対する対応
北上川流域	清らかな流れ ラムサール条約登録湿地、石巻湾等の水域の水質改善及び河川水質の維持	○ラムサール条約登録湿地、石巻湾等の水質調査等
		・伊豆沼・内沼自然再生事業 水質改善導水試験調査
		・公共用水域水質測定計画に基づく水質測定調査
		○生活排水処理基本構想に基づく汚水処理人口普及率の向上
		○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の水環境保全活動
		○みやぎの環境にやさしい農業の推進
		・みやぎの環境に優しい農産物認証・表示制度の運用
		・持続性の高い農業生産方式(エコファーマー)の推進
		・みやぎの有機農業推進計画に基づく有機農業の推進
		○家畜排せつ物の利用の促進を図るための宮城県計画に基づく家畜排せつ物の利用促進
○スマイルサポーターによる美化活動などの推進		
○伊豆沼・内沼自然再生事業		
豊かな流れ	渇水時における節水や水利用の調整	○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水及び環境保全行動の実践
	ダム上流域等の水源林の整備、保全	○渇水情報連絡会等での情報の共有
		○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全
		○農業用水水源地域保全対策事業による水源林保全の普及促進
安全な流れ	災害時の流木対策や森林整備による災害の未然防止	○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全等の推進
	洪水時の防災体制の強化	○地域防災力の強化
	河川整備による洪水被害の防止、軽減	○河川情報システムによる情報提供
	豊かな水田環境の保全と農業用ため池の保安全管理	○河川整備計画に基づく河川改修の実施
豊かな生態系	ラムサール条約登録湿地及び河川・水路等の生物多様性の保全	○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の水環境保全活動
		○伊豆沼・内沼自然再生事業
		○蕪栗沼遊水地環境保全事業
		○みやぎ農業農村整備基本計画に基づく環境との調和に配慮した整備の推進(みやぎ農業農村整備基本計画(改訂版))
		○河川の生態系保全対策の推進
		・多自然川づくりの実施
		・在来個体群の保全
		○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の生態系保全活動
		○水環境保全の普及啓発 水生生物調査
		○水生生物の保全に係る環境基準の類型指定

基本計画における流域の課題		課題に対する対応
鳴瀬川流域	清らかな流れ	○漆沢ダム等の現地調査等に基づく水質汚濁メカニズムの解明 ・異臭味や藻類の異常発生対策のための取水位置の改善 ・貯水循環装置による表層水と底層水の混合 等
		○松島湾水質浄化対策事業に基づく流入負荷量の削減等の推進 ・下水道・浄化槽等整備の着実な推進 ・下水道の高度処理の推進 ・環境保全型農業の推進 ・高城川・貞山運河・東名運河の浚渫 ・水質・底質等のモニタリング調査の実施 等
	豊かな流れ	○水道事業体等による節水の普及啓発 ・広報誌などによる住民への節水の呼びかけ ・湯水情報連絡会による湯水時の低水管理及び円滑な水利用等の湯水調整
		○環境配慮行動宣言(みやぎe行動(eco do!)宣言)に基づく節水の普及啓発 ・水道やシャワーの蛇口をこまめに止める ・節水コマや水洗トイレ用疑似音発生器の導入 ・雨水や工場排水の散水、洗車等への利用
		○鳴瀬川水系河川整備計画等に基づくダム整備 ・筒砂子ダム、田川ダム、二ツ石ダムの計画的な整備
		○みやぎ農業農村整備基本計画に基づく農業利水施設の持続的な機能の発揮 ・農業利水施設について点検整備等の実施体制整備 ・適切な機能診断と予防保全対策 等
		○みやぎ食と農の県民条例基本計画に基づく環境保全型農業の推進 ・浅水代かきや農業用水の反復利用の普及支援 等
		○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林の整備・保全等の推進 ・多様性に富む健全な森林の整備 ・松くい虫対策等森林の保護 ・保安林の適正な管理と整備
	豊かな生態系	○宮城県自然環境保全基本方針に基づく自然環境保全施策の推進 ・県立自然公園等における行為規制 ・森林公園の整備・管理 ・身近なみどり空間の保全と創出 ・森林の無秩序な開発の防止
		清らかな流れ
○釜房ダム貯水池に係る湖沼水質保全計画に基づく汚濁負荷低減対策		
○生活排水処理基本構想に基づく汚水処理人口普及率の向上		
○農地・水・環境保全向上対策に基づく地域の水環境保全活動		
○みやぎの環境にやさしい農業の推進 ・みやぎの環境に優しい農産物認証・表示制度の運用 ・持続性の高い農業生産方式(エコファーマー)の推進 ・みやぎの有機農業推進計画に基づく有機農業の推進		
○スマイルサポーターによる美化活動などの推進		
○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全		
豊かな流れ	○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水及び環境保全行動の実践 ○湯水情報連絡会等での情報の共有 ○導水等による河川流量の確保	
	○農業用水水源地域保全対策事業による水源林保全の普及促進 ○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全	
	○ハザードマップ活用による地域防災力の強化	
安全な流れ	○河川情報システムによる情報提供	
	○河川整備計画に基づく河川改修の実施	
豊かな生態系	○農地・水・環境保全向上対策に基づく地域の水環境保全活動	
	○みやぎ森林・林業の将来ビジョンに基づく森林整備・保全	
	○蒲生干潟自然再生事業	
	○河川の生態系保全対策の推進 ・多自然川づくりの実施 ・魚道等における遡上降下環境の改善	
	○みやぎ農業農村整備基本計画に基づく環境との調和に配慮した整備の推進(みやぎ農業農村整備基本計画(改訂版)) ○農地・水・環境保全向上対策等に基づく地域の生態系保全活動 ○水環境保全の普及啓発 水生生物調査 ○水生生物に係る環境基準の類型指定	

## Ⅱ 健全な水循環の確保に関する取組の実施状況

### 1 概要

#### (1) 清らかな流れ

公共用水域の水質調査，水生生物調査，下水道整備事業及び活動団体や市町村による美化活動が実施された。

#### (2) 豊かな流れ

流域内における水源かん養機能を維持し，豊かな水量を確保するために保安林の整備等が実施された。

#### (3) 安全な流れ

海岸林の再生に向けた植樹が実施された。

なお，平成 21 年度まで実施されていた多田川広域河川改修事業は平成 24 年度も休止となっている。

#### (4) 豊かな生態系

山間部では植樹事業や森林整備事業等を実施し，河川などの水域では，田んぼの生き物調査の実施や在来種の保護等，生態系の保全に努めた。

### 2 要素ごとの実施状況

#### (1) 清らかな流れ

平成 24 年度の公共用水域水質測定結果によると，3 流域内の環境基準点が設定されたほとんどの河川において，BOD の環境基準を達成していた。鳴瀬川流域の貞山運河では環境基準を超過していた。

3 流域内の環境基準点が設定された湖沼では，いずれの水域でも COD の環境基準を超過していた。3 流域内で，全りんの環境基準は 4 地点で適用されているが，3 地点で環境基準を超過していた。

3 流域内の環境基準点が設定された海域のうち，COD の環境基準は 18 地点で適用されているが，9 地点で環境基準を達成していた。全窒素及び全りんの基準が適用される港橋，西浜，桂島の 3 水域中，全窒素の基準については，桂島で環境基準を達成し，全りんの基準を超過したのは港橋の 1 地点となっている。



表 2-2-(1)-1 公共用水域水質測定結果（平成 24 年度）

(単位：mg/L)

流域	区分	水域名	測定地点名	BOD		COD		全窒素		全りん		
				測定値	基準値	測定値	基準値	測定値	基準値	測定値	基準値	
北上川流域	河川	金流川下流	小畑橋	1.3	2							
		有馬川	宇南田橋	1.1	2							
		北上川(4)	登米大橋(登米)	0.7	2							
		旧北上川上流	神取橋(和淵)	1.2	2							
		旧北上川下流	門脇	1.2	3							
		追川上流・二追川上流及び三追川上流	花山ダム流入部	<0.5	1							
			鍛冶屋橋	<0.5	1							
			洞万橋(栗駒ダム流入部)	<0.5	1							
			追川中流	若柳	0.7	2						
			追川下流	西前橋	1.5	3						
			江合川上流	轟(轟橋)	0.5	1						
			江合川中流	清水閘門	0.7	2						
			江合川下流	及川橋	1.6	3						
			出来川全域	小牛田橋	2.6	5						
		大崎市内河川全域	新堀サイホン入口(古川)	1.7	5							
		定川全域	定川大橋	1.5	5							
	湖沼	栗駒ダム	ダムサイト			1.6	1	0.21	-	0.006	-	
		花山ダム	ダムサイト			2.7	1	0.28	-	0.012	-	
		鳴子ダム	ダムサイト			2.2	1	0.32	-	0.019	-	
		伊豆沼	伊豆沼出口			9.4	5	0.85	-	0.051	-	
		長沼	長沼出口			7.8	5	0.49	-	0.017	-	
	海域	石巻地先海域(甲1)	工業港入口			4.4	8	0.31	-	0.021	-	
		石巻地先海域(甲2)	雲省野海岸沖H-1			4.6	8	0.25	-	0.024	-	
		石巻地先海域(乙1)	長浜沖N-2			2.8	3	0.15	-	0.016	-	
		石巻地先海域(乙3)	雲省野海岸沖H-2			4.2	3	0.32	-	0.022	-	
		石巻地先海域(丙)	工業港沖K-3			3.5	2	0.14	-	0.015	-	
			雲省野海岸沖H-3			3.0	2	0.31	-	0.019	-	
鳴瀬川流域	河川	鳴瀬川上流	筒砂子橋	0.7	1							
			唐府沢川最下流	<0.5	1							
			漆沢ダム流入部(鳴瀬川)	<0.5	1							
		鳴瀬川中流	感恩橋(南郷)	1.5	2							
		鳴瀬川下流	小野橋(小野)	1.4	3							
		吉田川上流	魚板橋	0.6	2							
		吉田川下流	善川橋	1.4	3							
			二子屋橋(鹿島台)	2.0	3							
		鶴田川	下志田橋(サイホン)	2.5	5							
		高城川	明神橋	1.7	5							
		新町川	當盤橋	1.2	5							
	砂押川上流	多賀城堰	1.7	5								
	砂押川下流	念仏橋	1.7	5								
	貞山運河	貞山橋	7.4	5								
	湖沼	漆沢ダム	ダムサイト			3.7	1	0.25	-	0.015	-	
		南川ダム	ダムサイト			3.3	3	0.47	(0.2)	0.011	0.01	
	海域	松島湾(甲)	港橋			3.8	8	1.2	0.6	0.11	0.05	
		松島湾(乙)	西浜			2.5	3	0.33	0.3	0.027	0.03	
		松島湾(丙)	桂島			3.1	2	0.17	0.3	0.018	0.03	
		石巻地先海域(丙)	鳴瀬沖			3.8	2	0.15	-	0.014	-	
		仙台港地先(丙)	菖蒲田前-1			2.5	2	0.14	-	0.015	-	
		その他の地先海域	桂島海水浴場			3.7	2	-	-	-	-	
	名取川流域	河川	七北田川上流	七北田橋	1.3	2						
			七北田川中流	福田大橋	1.9	3						
			七北田川下流	高砂橋	2.8	5						
			梅田川	福田橋	1.7	5						
			名取川上流	いもくぼ橋	<0.5	1						
北川橋				0.5	1							
北向橋				0.5	1							
深野橋				0.5	1							
栗木橋余方				1.1	2							
名取川中流			関上大橋	1.4	3							
策川			名取川合流前	1.4	5							
広瀬川(1)			鳴合橋	0.8	2							
広瀬川(2)			三橋	1.4	3							
大倉川上流			滝の上橋	0.5	1							
大倉川下流			大倉川最下流	0.6	1							
増田川上流			栗師橋	0.5	2							
増田川中流			小山橋	0.8	3							
増田川下流			毘沙門橋	1.3	5							
下堀用水路			境橋	0.7	5							
川内沢川		筋違橋上流	1.7	3								
湖沼		釜房ダム	ダムサイト			2.5	1	0.49	(0.2)	0.015	0.01	
		樽水ダム	ダムサイト			3.4	3	0.44	-	0.008	-	
		大倉ダム	ダムサイト			2.4	1	0.19	(0.2)	0.010	0.01	
		七北田ダム	ダムサイト			3.3	3	0.33	(0.2)	0.018	0.01	
海域		仙台港地先海域(甲)	内湾-4			2.9	8	0.63	-	0.056	-	
			外湾-3			0.9	3	0.43	-	0.038	-	
		仙台港地先海域(乙)	蒲生-3			1.3	3	0.71	-	0.066	-	
			御殿崎-1			2.2	3	0.19	-	0.017	-	
		仙台港地先海域(丙)	御殿崎-2			2.6	2	0.18	-	0.016	-	
			荒浜-3			2.5	2	0.43	-	0.088	-	

注1)測定値とは公共用水域水質測定結果による75%値(BOD・COD)又は年平均値(全窒素・全りん)で、着色部分は環境基準超過を示す。

注2)湖沼全窒素の環境基準は当分の間適用しない。

注3)西浜、御殿崎-1のCOD値はアルカリ告示法で実施。

また、平成 24 年度の全国水生生物調査は、北上川流域内では 17 か所、鳴瀬川流域内では 3 か所、名取川流域内では 20 か所で開催された。この調査は、河川の水質を総合的に評価するため水生生物を指標として水質を 4 つのレベルに分けて判定する、環境省と国土交通省が一般市民の参加を得て実施しているものである。

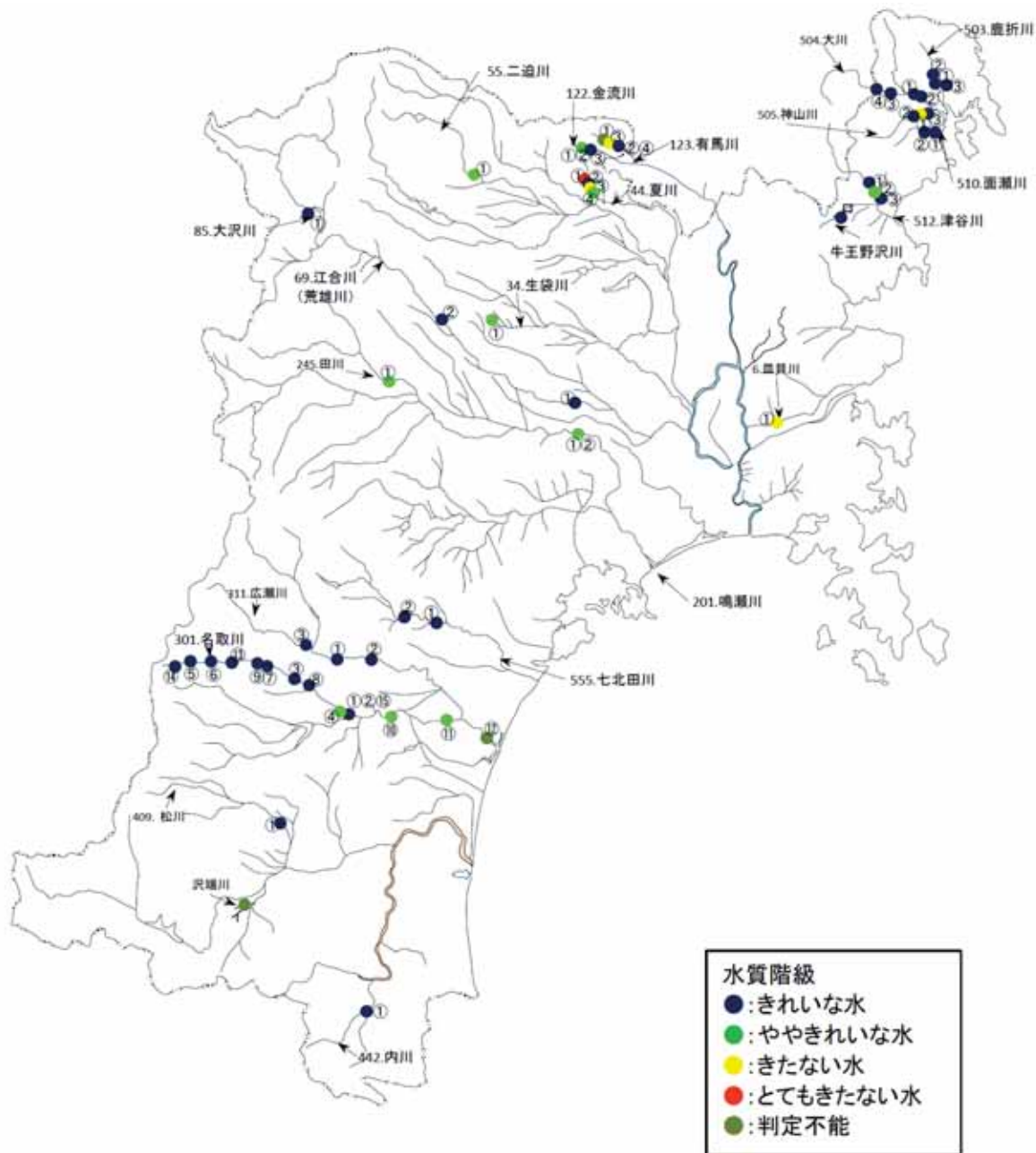


図 2-2-(1)-1 全国水生生物調査における調査地点等（宮城県内）



流域内では、下水道、農業集落排水施設、漁業集落排水施設等の集合処理施設や合併処理浄化槽等の個別処理施設の整備が進められている。

流域ごとの汚水処理人口普及率の経年変化は以下のとおりであり、年々上昇傾向にある。なお、平成22年度の値は東日本大震災の影響に伴い集計されていない。

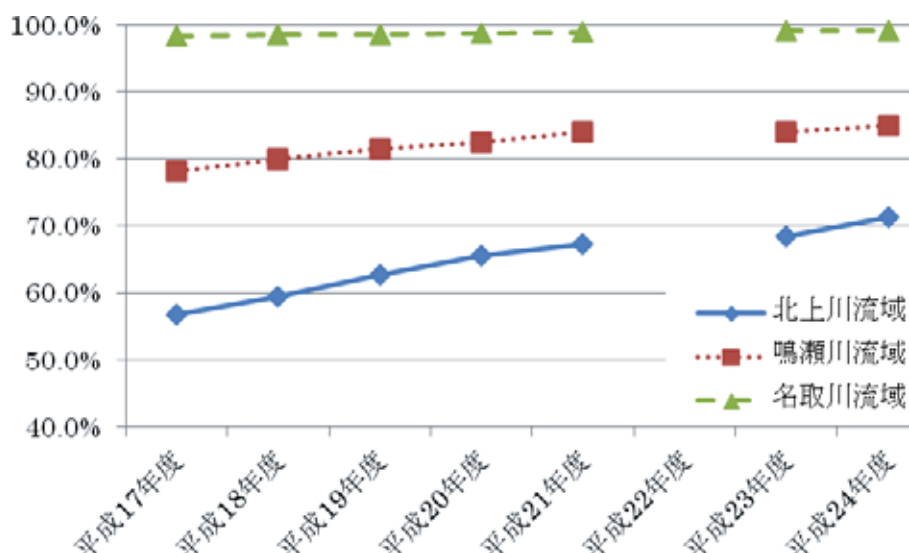


図 2-2-1(1)-2 流域ごとの汚水処理人口普及率の経年変化

※北上川流域について、石巻市、大崎市、東松島市、美里町の一部で流域外を含む。

※鳴瀬川流域について、東松島市、大崎市、美里町の一部で流域外を含む。

流域内における関係団体等の取組事例は次のとおりである（【 】内は報告団体又は事業主体とした。）。

#### ◆北上川流域での取組み◆

##### 1) 水生生物による水質調査【石巻市】

水質保全及び水質浄化意識の普及を図ることを目的として、市内の幼児、小・中学生を対象として皿貝川の水辺に生息する水生生物調査を実施し、水質について学んだ。



##### 2) 田んぼの学校（生き物調査、水質調査）【県地方振興事務所 ほか】

石巻市の北村小学校では、地元の農業農村の環境への関心を深めてもらうため、生き物調査や水質調査を実施した。北上川流域では、このほかに4回田んぼの学校が開催されている。



## ◆鳴瀬川流域での取組み◆

### 3) ふゆみずたんぼでの環境保全米栽培の実施 【一ノ蔵】

農薬や化学肥料に頼らない酒米の栽培方法の確立を目的とし、一ノ蔵圃場において、環境保全型酒米の栽培、田んぼの生き物調査、農薬不使用冬水田んぼの取り組み、宮城大学と連携したグリーンツーリズムを実施した。



### 4) 砂押川堤防環境保全活動【自然塾カワセミクラブ】

カワセミクラブは、砂押川に飛来する野鳥の観察を行っている団体で、野鳥が飛来できる環境を守るため、砂押川周辺の清掃活動のほか、以下の活動を実施した。

- ◎外来種のアレチウリ、クズなどの除去作業
- ◎国土交通省主催の全国一斉水質調査に参加

### 5) 河川清掃【大衡村河川愛護会】

良好な河川の維持管理を実施し、天災の防止や地域住民の福祉の向上に寄与するため、吉田川の支流である善川や埋川等で雑草木の刈払いを行った。



### 6) 河川清掃【色麻町河川愛護会】

天災の防止や地域住民の協働の福祉を増進するため、花川や深川等で雑草木の刈払いを行った。



### 7) ごみゼロ運動 秋の一斉清掃【松島町】

住民相互の交流とゴミのないきれいな町づくりを目指し、河川や道路、公園等の公共の場所の草刈・ごみ拾い等の清掃活動を実施した。



8) **海岸美化清掃 しちがはまクリーンサポートプログラム【七ヶ浜町】**

良好な景観の形成・維持を行い，集客を目指すため，海岸美化清掃を実施し，砂浜に打ち上げられたごみや，レジャーなどによるポイ捨てごみを回収した。



9) **第19回 水と森と風のくにまつり【県大崎地方ダム総合事務所，漆沢ダム管理事務所】**

心身をリフレッシュし，明日への活力を養うとともに，森林やダム，河川等の重要性について国民の関心・理解を図るため，漆沢ダムとその周辺を会場としてダム施設見学等を実施した。



◆**名取川流域での取組み◆**

10) **総合学習【国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所】**

多種多様なフィールドを使った学習支援活動を実施するため，仙台市内の小・中学生を対象に水生生物の調査や水質調査を実施した。



11) **釜房ダム湖畔清掃・青下ダム周辺清掃【仙台市】**

市民との協働による水源保全活動を実施するため，釜房ダム及び青下ダム周辺でゴミ拾いを実施した。釜房ダム湖畔清掃では70名，青下ダム周辺清掃では32名が参加した。



12) **広瀬川1万人プロジェクト（一斉清掃）【広瀬川1万人プロジェクト実行委員会】**

杜の都・仙台市のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り，多くの市民が親しめる川とするため，広瀬川流域の会場で一斉清掃及びフォーラムを実施した。

14会場で合計2,050人が参加し，ゴミ袋812個分のゴミを回収した。





13) 広瀬川で遊ぼう（親水イベント）【広瀬川で遊ぼう実行委員会】

広瀬川下流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、河川環境に対する関心の高揚を図るため、鯉のぼり、フリーマーケットなどを広瀬川宮沢緑地で実施し、1,500名が参加した。

平成24年度は増水のため、Eボート及び手漕ぎボートは中止となった。



14) 広瀬川文化講座【広瀬川市民会議】

広瀬川の歴史やまちづくりとの関わり、環境や生態系など、様々な視点から専門の講師を招き、広瀬川についての理解を深めることで広瀬川に対する関心の高揚を図るため、計3回実施した。3回の開催で151名の参加があり、まとめた冊子を発行した。



15) 作並かっぱ祭り（親水イベント）【作並かっぱ祭り実行委員会】

広瀬川上流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、子どもたちに川の魅力と危険性を伝え、河川環境に対する関心の高揚を図るため、新川で川遊びやニジマスのつかみどり、スイカ割り、石ころアートなどを実施した。



◆複数流域にまたがる取組み◆

16) 身近な水環境全国一斉調査 ほかに【NPO法人 城県河川環境研究会】 **北上 鳴瀬 名取**

身近な水環境全国一斉調査に参加することにより、水質調査結果を水環境マップのため情報提供を行ったほか、小学校での総合学習支援や自然環境と復興に関する研修会、魚道施設等に関する技術指導を行った。



17) 環境保全型農業直接支払対策【環境保全型農業実践者等】 **北上 鳴瀬 名取**

農業者等が行う化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組とセットで目的達成に効果の高い営農活動を行う農業者等を支援したほか、農業分野における地球温暖化防止や生物多様性保全に資することを目的に有機農業や冬期湛水管理、カバークロップ栽培の取組が11市町、313件、1,048haで実施された。

- 18) 北上川水系及び鳴瀬川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組等【北上川水系水質汚濁対策連絡協議会，江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会】 **北上 鳴瀬 名取**

河川・湖沼及び水路等の河川水質汚濁対策及び河川環境の保全のため，河川の水質汚濁防止対策のための連絡調整や水質事故に備えた通報訓練及び現地対応訓練を実施した。

なお，名取川水系についても同様の取組が行われている。



- 19) みやぎスマイルリバー・プログラム【スマイルサポーター（総称）】 **北上 鳴瀬 名取**

県管理の河川におけるボランティア活動を支援し，ボランティア活動の活性化及び河川に関する地域環境の維持向上を通じて，住民参加のまちづくりを図るために，一定の要件を満たす団体をスマイルサポーターに認定している。



表 2-2-(1)-2 スマイルサポーターの認定・活動状況

	平成24年度末 認定団体数	うち平成24年度 新規認定団体数	主な活動区域
北上川流域	37	2	迫川，長者川
鳴瀬川流域	6	1	鳴瀬川，砂押川
名取川流域	40	5	広瀬川，七北田川

- 20) 甦る水環境みやぎ【県下水道課】 **北上 鳴瀬 名取**

県民が快適な生活を営むことができるよう，排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させるとともに，良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ，循環型の豊かな水環境を形成しようとするもので，平成 22 年 3 月の改訂時に設定された平成 32 年度末の短期目標を目指した新構想を推進するための取り組みとして合併処理浄化槽等の整備促進や県民意識の啓発を実施した。

なお，東日本大震災での大津波により県南浄化センター，仙塩浄化センター，石巻東部浄化センターは浸水により機能停止となった。甚大な被害を受けたこれらの浄化センターは復旧工事を行い，県南浄化センター及び仙塩浄化センターについては平成 24 年度中に復旧を完了している。

## (2) 豊かな流れ

流域ごとの土地利用区分を基に計算した蒸発散量を差し引いたもののうち、河川へ流出する割合のことを流出係数という。

この流出係数が望ましい値としている森林（0.4）を10としたとき、各流域の流出係数は以下のとおりであり、ほぼ横ばいとなっている。

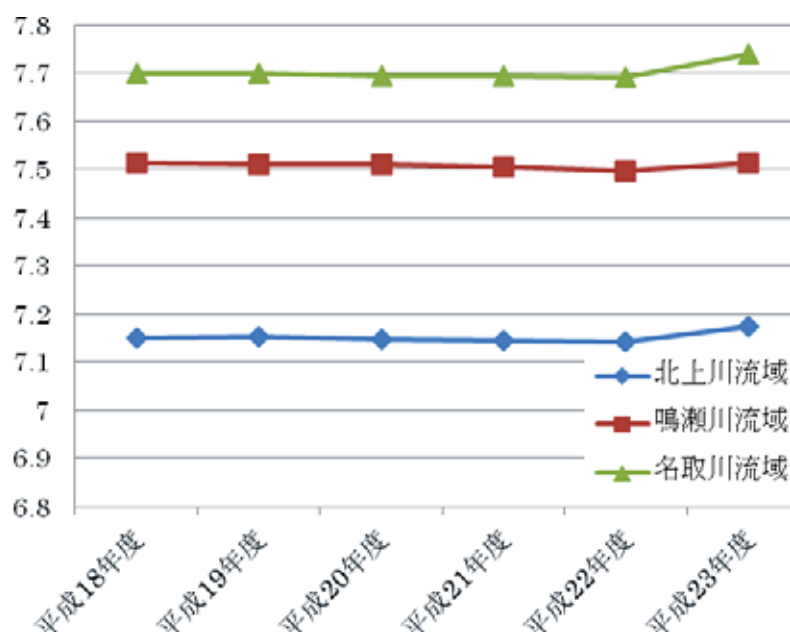


図 2-2-(2) 森林（0.4）を10としたときの流出係数の経年変化

※北上川流域について、石巻市、大崎市、東松島市、美里町の一部で流域外を含む。

※鳴瀬川流域について、東松島市、大崎市、美里町の一部で流域外を含む。

なお、渇水情報連絡会では鳴子ダム、広瀬川での渇水の状況が報告された。

鳴子ダムでは、平成24年8月の降雨量は過去10年でみても非常に少ない状況となっており、早期の河川流量の回復が見込まれないことから、8月7日に北上川下流河川事務所及び鳴子ダム管理所では渇水対策支部（注意体制）を設置した。その後、北上川水系（下流）及び鳴瀬川水系渇水連絡協議会を開催し、関係各機関と情報共有を行ったほか、北上川下流河川事務所では、渇水の影響を受けた北上川下流域の水質悪化の改善を図るため、北上大堰下段ゲートからのリフレッシュ放流を行った。渇水対策支部は10月3日に解除されている。

広瀬川でも、平成24年7月中旬以降から降水量が少ない状況が続く、河川流況の回復が見込まれないことから名取川水系渇水対策支部（注意体制）を設置した。その後、渇水情報連絡会を開催し、関係各機関と情報共有を行い、流況が改善される見通しがたったことから9月24日に解除された。



流域内における関係団体等の取組事例は次のとおりである（【 】内は報告団体又は事業主体とした。）。

#### ◆名取川流域での取組み◆

##### 1) 「南小エコころ研究所 七郷堀を追い！」等【NPO法人めぐりねっと 21】

広瀬川の河川の様子を見学し、続いて学区内を流れる七郷堀の役割及び現状や昔の水路の利活用などを地域の人から学んだ。また、下流域の水田では居久根や水路の生き物調査、水質検査などの環境調査により、身近な生態系と農村生活環境について学習し、これらを通して河川の役割や流れる水の働きについて理解したほか、身近な水辺の生き物や水路の安全についても併せて学んだ。



##### 2) 天水桶手づくり講座の開催【仙台市】

天水桶作りを通して天水桶の構造や原理を知り、天水桶の普及を図り、水環境を健全に保つことの大切さについて理解を深めていただくため、ゴミ箱等の身近な材料で天水桶を作製した。



##### 3) 平成 24 年度「森と湖に親しむ旬間」のイベント【県仙台地方ダム総合事務所】

児童に自然に親しむ機会を創出し、森林やダム等水源地の重要性に対する関心と、理解を深めるため、仙台市大倉小学校において、水の大切さについての講話及びサイコロを使い、自分が水になったつもりで自然界を循環する体験をする環境ゲーム「水のたび」を行い学習した。



◆複数流域にまたがる取組み◆

4) 森林保全整備事業等【林野庁東北森林管理局  
宮城北部森林管理署 ほか】

北上 鳴瀬 名取

国有林野施業実施計画に基づく、機能類型・施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源涵養機能の維持増進を目的として、保安林の適正な整備などを実施した。



(3) 安全な流れ

平成 21 年度までは、鳴瀬川流域内の治水安全の向上を目指した事業として、多田川広域河川改修事業（大江川工区）が実施されてきたが、他河川への集中投資等に伴い、平成 22 年度から平成 24 年度は休止の状況となっており、平成 25 年度から再開の予定である。

流域内における関係団体等の取組事例は次のとおりである（【 】内は報告団体又は事業主体とした。）。

◆鳴瀬川流域での取組み◆

1) 海岸林再生キックオフ植樹【県林業振興課・森林整備課】

東日本大震災の津波被害により、流出・倒伏など甚大な被害を受けた県内の海岸林の再生に向けた第一歩となる植樹式を関係機関や一般県民の参加のもと七ヶ浜町湊浜で開催した。



(4) 豊かな生態系

多様性の高い森林整備等の推進や身近な生き物の調査など、身近な緑空間の保全と創出・ふれあいに向けた取り組みが行われている。

流域内における関係団体等の取組事例は次のとおりである（【 】内は報告団体又は事業主体とした。）

## ◆北上川流域での取組み◆

### 1) 環境配慮施設の効果的な配置手法確立調査【農林水産省東北農政局】

農業農村整備事業における環境配慮の質を一層向上させるため、農業用排水路に生息する魚類を対象として、環境配慮施設の配置間隔、組合せなどの観点から効果的な配置手法を検討した。

農業用排水路とドジョウ等の産卵場である水田の分断を解消するための水田魚道を設置し、水田魚道の設置の有無や設置数の違いによる魚類の生息数を調査し、効果的な配置手法の検討を行った。



### 2) 平成 24 年度国指定伊豆沼鳥獣保護区伊豆沼外来魚駆除事業【環境省東北地方環境事務所】

ラムサール条約登録湿地である伊豆沼・内沼において、生物多様性の保全や漁業資源の保護のため、オオクチバスやブルーギル等による被害を低減することを目的に駆除を実施し、繁殖抑制・個体数抑制に努めた。



### 3) 伊豆沼・内沼自然再生事業【県自然保護課】

自然環境の遷移の進行を抑制するとともに劣化した環境機能を修復し、多様な生物が生息、生育する淡水湖沼の生態系を有していた頃の伊豆沼・内沼への再生を目指し、自然再生協議会の開催や自然再生事業として沈水植物増殖・移植や水生植物適正管理を実施した。



## ◆鳴瀬川流域での取組み◆

### 4) めだかの学校「びおと一ぷ」での田植え・苗の投げ植え【石母田ふるさと保全会】

農地・水保全管理支払交付金の活動の一環として、地元の小学生を招いて田植えや生き物の調査を行った。

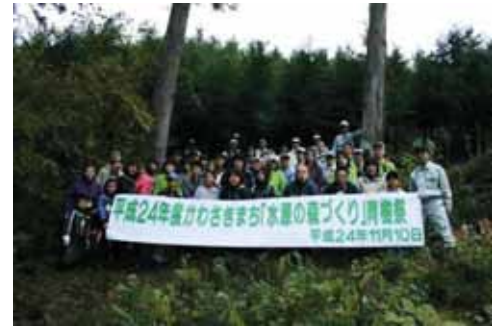




◆名取川流域での取組み◆

5) 「水源の森づくり」育樹祭【川崎町】

活力ある緑の造成への気運を高め、次世代に渡る連体制を深めることを目的に、枝打ち体験・木工体験等を行い、町民等への森林機能に対する理解を深めた。



6) 「田んぼの学校」生き物調査等【県地方振興事務所 ほか】

水田や水路の生き物調査を通じて、農業農村の多面的役割を説明し、地域農業の環境について学ぶことを目的として川崎町において「田んぼの学校」を開催した。

川崎町での開催のほか、名取川流域のほかの地区においても2回実施した。



◆複数流域にまたがる取組み◆

7) 森林ふれあい教室，林業体験等【林野庁東北森林管理局宮城北部森林管理署】

北上 鳴瀬 名取

森林の整備・保全への国民参加の促進のため、森林整備活動を栗原市，大和町で実施した。



8) 百万本植樹事業【県自然保護課】

北上 鳴瀬 名取

緑豊かな県土と潤いのある生活環境の創造，県民の緑化活動への積極的な参加促進のため，北上川流域及び鳴瀬川流域においてシダレザクラ等，計18種類，計1,174本を植樹した。



9) 北上川水系河川水辺現地調査等【国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所 ほか】

北上 鳴瀬 名取

北上川流域では底生動物，鳴瀬川流域では鳥類・植物，名取川流域では魚類の生息状況や経年変化を把握したほか，工事や災害による影響，特定外来種等や重要種の分布状況等を併せて把握することで，河川管理上の基礎資料とした。



10) 農地・水保全管理支払交付金【曾根地域環境を守る会（栗原市） ほか】

北上 鳴瀬 名取

農地・農業用水等の資源は、地域共同の活動により保全管理されてきたところであるが、衰退する地域主体の保全管理の取り組みを強化するため、資源の保全管理活動や農村環境の保全活動、農地周りの農業用施設の長寿命化等に取り組む活動組織を支援した。



北上川流域では曾根地域環境を守る会、鳴瀬川流域ではおのだ城内上区集落活動組織、名取川流域では笠島ふる里集落資源保全隊がそれぞれの農地・農業用水等の資源保全活動や農地・農業用施設の長寿命化等に取り組む活動、農村環境の保全活動を実施した。

11) みやぎの里山林協働再生支援事業【県自然保護課】

北上 鳴瀬 名取

企業のCSR活動を主体とした県民参加による里山林整備の促進を図るため、森林づくり活動を行おうとする企業等と、活動の場が提供できる森林所有者との橋渡し役となって里山林の整備を支援している。





### 3 水道水源特定保全地域の指定

流域の健全な水循環を保全するため、ふるさと宮城の水循環保全条例において、「山間部の水道水源地域のうち、その地域の良好な水循環の保全を図る上で特に重要と認められる区域」を指定できるとされている。

そこで流域の水循環の出発点である重要な水かん養機能（降水を土壤に浸透・保水させて、その後、時間をかけ河川へ水を供給する機能）を有しており、生態系が安定し、生命活動が盛んな天然又はそれに近い山間部の森林地域として、鳴瀬川流域は大和町、色麻町、加美町の一部を平成 22 年 2 月、北上川流域で栗原市、大崎市の一部を、名取川流域では仙台市、川崎町の一部を平成 24 年 2 月に指定している。

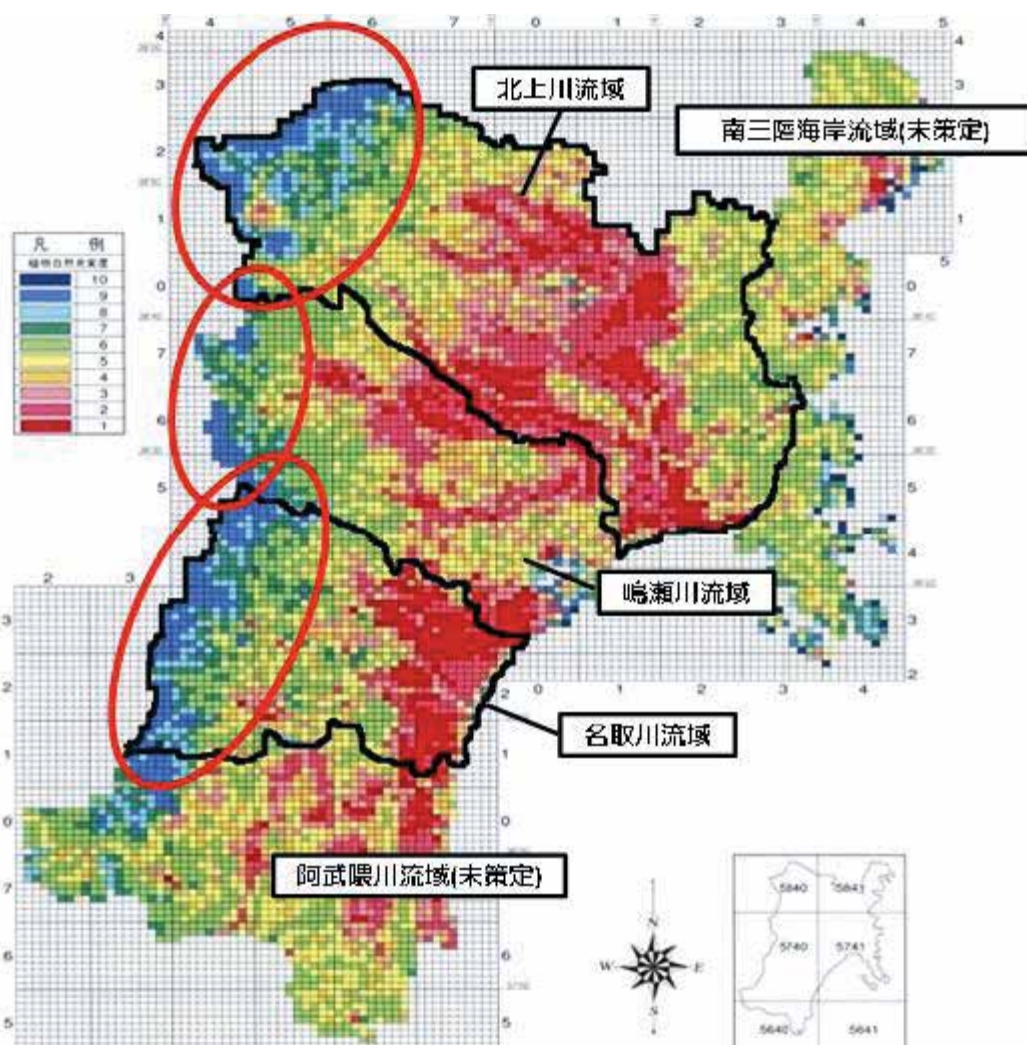


図 2-3-1 水道水源特定保全地域

- 3 流域の指定区域は、いずれも県西部の奥羽山脈付近に集中しており、指定区域の 70%以上は国有林である。
- 地域内で開発事業を実施する場合は、条例に基づく届出が必要となる場合がある。
- 詳細な区域は、県環境対策課のホームページを参照のこと。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-t/suidousuigen.html>



#### 4 流域水循環計画推進会議の開催

流域の健全な水循環の保全を推進するためには、県民、民間団体、NPO法人、事業者、行政機関等の各主体が、それぞれの立場に応じた役割分担のもと、自主的・積極的かつ連携した水循環保全施策に取り組む必要がある。

そのため、平成24年度は各流域で活動している民間団体や行政機関を参集し、推進会議を開催した。この会議では鶴見川流域の防災・環境保全、神奈川県三浦市小網代の環境保全にかかわる市民活動の代表として活躍している慶應義塾大学経済学部（生態学）教授 岸由二氏を講師に招き講演いただいた。また、NPO法人等の活動団体に流域での活動状況を報告いただき、全員での意見交換を実施した。

#### 5 管理指標による状況評価

流域水循環計画では、取組による水循環の健全性を把握するため、流域ごとに4つの要素に基づいて管理指標を設定し、定期的なモニタリングにより、管理指標の達成状況について点検することとしている。

平成24年度末現在の管理指標項目とそれぞれの流域の状況については、次のとおりであった。

##### (1) 北上川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」について、河川（BOD）の環境基準達成率は100%であり、湖沼（COD）の環境基準達成状況は依然として改善はみられない。海域（COD）の達成状況については、平成23年度は数値が一時的に好転したが、今年度は平年並みとなっている。

「豊かな流れ」については、管理指標である流出係数は土地利用面積を基に算出しているが、平成24年度値が現在公表されていないため空白となっている。

「安全な流れ」の河川整備率は、ほぼ横ばいの状況である。

「豊かな生態系」の水生生物保全水質環境基準達成状況は、100%である。

表 2-5- (1) 北上川流域の管理指標の状況

課題の分類	管理指標	管理項目	モニタリング地点等	H21	H22	H23	H24
清らかな流れ	水質環境基準達成状況	BOD	環境基準点(河川)	100%	94%	100%	100%
		COD	環境基準点(湖沼)	0%	0%	0%	0%
			環境基準点(海域)	33%	50%	100%	50%
豊かな流れ	健全なかん養量	流出係数	流域市町村	0.57	0.57	0.57	-
安全な流れ	河川整備状況	河川整備率	管理区間河川	54%	53%	54%	54%
豊かな生態系	水生生物保全水質環境基準達成状況	全亜鉛	環境基準点(旧北上川、江合川、迫川)	-	-	(100%)	100%

※表中の水生生物保全水質環境基準達成状況については、H23年値は参考値扱いとする。

※表中の健全なかん養量の流出係数については、毎年更新される市町村別利用区分土地利用面積を基に算定しているが、現在とりまとめ中であるため空白となっている。

## (2) 鳴瀬川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」について、河川（BOD）の環境基準達成率は100%であり、湖沼（COD）の環境基準達成状況は依然として改善はみられない。海域（COD）の達成状況は昨年度からは減少しているが、平年並みとなっている。

「豊かな流れ」については、鳴瀬川中流堰下流及び吉田川落合では正常流量を確保することができた。

「安全な流れ」の河川整備率については、平成23年度値から変化はなく、横ばいとなっている。

「豊かな生態系」の水生生物保全水質環境基準達成状況は100%であり、絶滅危惧種の生息状況についても前年度からの変化はなかった。

表 2-5- (2) 鳴瀬川流域の管理指標の状況

清らかな流れ	水質環境基準達成状況	BOD	環境基準点(河川)	100%	100%	100%	100%	93%	93%
		COD	環境基準点(湖沼)	0%	0%	0%	0%	0%	0%
			環境基準点(海域)	33%	33%	33%	33%	60%	33%
豊かな流れ	河川流量(正常流量)の確保状況	河水流量(m <sup>3</sup> /s)	鳴瀬川中流堰下流 ※正常流量(非かんがい期4.0m <sup>3</sup> /s)	#	#	#	#	#	#
			吉田川落合 ※正常流量(かんがい期1.5m <sup>3</sup> /s)	1.57	1.33	1.54	1.40	1.80	1.98
安全な流れ	河川整備状況	河川整備率	管理区間河川	71%	72%	74%	74%	74%	74%
豊かな生態系	水生生物保全水質環境基準達成状況	全亜鉛	環境基準点(鳴瀬川, 吉田川)			(100%)	100%	100%	100%
	絶滅危惧種の生息状況	生息地数	シナイモツゴ	7か所	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所
			テツギョ	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
		ゼニタナゴ	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所	

※河水流量: 年間の流況曲線による上位から355日目の流量

※豊かな流れの観測データは、国土交通省吉田川落合観測所によるもので暦年のデータである。

※表中のH24年の河水流量は速報値(照査中)であるため、後日公表される確定値と異なる場合がある。

※表中の水生生物保全水質環境基準達成状況については、H21年値は参考値扱いとする。

「#」について、豊かな流れの観測データは参考扱いのデータにおいて正常流量を上回っていることが確認されている。

## (3) 名取川流域

管理指標のうち、「清らかな流れ」について、河川（BOD）の環境基準達成率は100%であり、湖沼（COD）の環境基準達成状況は依然として改善はみられない。海域（COD）の達成状況は昨年度からは減少している状況となっている。

「豊かな流れ」については、名取川名取橋及び広瀬川広瀬橋では、正常流量を確保することができなかった。

「安全な流れ」の河川整備率については、平成24年度は昨年度から変化はなく、横ばいとなっている。

「豊かな生態系」の水生生物保全水質環境基準達成状況は、100%である。

表 2-5- (3) 名取川流域の管理指標の状況

課題の分類	管理指標	管理項目	モニタリング地点等	H21	H22	H23	H24
清らかな流れ	水質環境基準 達成状況	BOD	環境基準点(河川)	100%	100%	100%	100%
		COD	環境基準点(湖沼)	0%	0%	0%	0%
			環境基準点(海域)	83%	67%	83%	67%
豊かな流れ	河川流量(正常流量)の 確保状況 ※正常流量(2.5m <sup>3</sup> /s(9 ~10月),2.0m <sup>3</sup> /s(11月 ~8月))	渇水流量 (m <sup>3</sup> /s)	名取川 名取橋	2.53	1.48	2.11	1.79
			広瀬川 広瀬橋	2.20	1.99	1.10	1.29
安全な流れ	河川整備状況	河川 整備率	管理区間河川	78%	79%	79%	79%
豊かな生態系	水生生物保全水質 環境基準達成状況	全亜鉛	環境基準点 (名取川, 広瀬川)	-	-	(100%)	100%

※渇水流量: 年間の流況曲線による上位から355日目の流量

※豊かな流れの観測データは、国土交通省名取川名取橋及び広瀬川広瀬橋によるもので歴年のデータである。

※表中のH24年の渇水流量は速報値(照査中)であるため、後日公表される確定値と異なる場合がある。

※表中の水生生物保全水質環境基準達成状況については、H23年値は参考値扱いとする。

### III 資料

関係団体などの取組報告事例

表3 関係団体報告一覧

資料番号	事業名	主体	清らかな流れ	豊かな流れ	安全な流れ	豊かな生態系	流域区分		
							北上	鳴瀬	名取
1	水生生物による水質調査	石巻市	○			○			
2	田んぼの学校(生き物調査, 水質調査)	宮城県 ほか	○			○			
3	ふゆみずたんぼでの環境保全米栽培の実施	株式会社 一ノ蔵	○			○		○	
4	砂押川堤防環境保全活動	自然塾カワセミクラブ	○					○	
5	河川清掃	大衡村河川愛護会	○					○	
6	河川清掃	色麻町河川愛護会	○					○	
7	ごみゼロ運動 秋の一斉清掃	松島町	○					○	
8	海岸美化清掃 しちがはまクリーンサポートプログラム	七ヶ浜町	○					○	
9	第19回 水と森と風のくにまつり	宮城県	○			○		○	
10	総合学習	仙台河川国道事務所	○			○			○
11	釜房ダム湖畔清掃・青下ダム周辺清掃	仙台市	○			○			○
12	広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	○						○
13	広瀬川で遊ぼう(親水イベント)	広瀬川で遊ぼう実行委員会	○			○			○
14	広瀬川文化講座	広瀬川市民会議	○			○			○
15	作並かっぱ祭り(親水イベント)	作並かっぱ祭り実行委員会	○			○			○
16	身近な水環境全国一斉調査 ほか	特定非営利活動法人 宮城県河川環境研究会	○	○		○		○	○
17	環境保全型農業直接支援対策	環境保全型農業実践者等	○			○	○	○	
18	北上川水系及び鳴瀬川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組	北上川水系水質汚濁対策連絡協議会, 江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会	○				○	○	
19	名取川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会	○						○
20	みやぎスマイルリバー・プログラム	スマイルサポーター(総称)	○				○	○	○
21	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)	宮城県	○				○		
22	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)	宮城県	○					○	
23	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)	宮城県	○						○
24	1「南小エコこころ研究所 七郷堀を追い！」2「南小泉小学校 環境調査隊！七郷付近の水田と長喜城の居久根」	特定非営利活動法人 あぐりねっと21				○			○
25	天水桶手づくり講座の開催	仙台市				○			○
26	平成24年度「森と湖に親しむ旬間」のイベント	宮城県				○			○
27	森林保全整備事業等	宮城北部森林管理署				○	○		
28	森林保全整備事業等	宮城北部森林管理署				○		○	
29	海岸林再生キックオフ植樹	宮城県				○		○	
30	環境配慮施設の効果的な配置手法確立調査	農林水産省				○	○		
31	平成24年度国指定伊豆沼鳥獣保護区伊豆沼外来魚駆除事業	東北地方環境事務所				○	○		
32	伊豆沼・内沼自然再生事業	宮城県				○	○		
33	めだかの学校「びおとーぶ」での田植え・苗の投げ植え	石母田ふるさと保全会				○		○	
34	「水源の森づくり」育樹祭	川崎町				○			○
35	「田んぼの学校」生き物調査 等	宮城県 ほか				○			○
36	森林ふれあい教室, 林業体験 等	宮城北部森林管理署				○	○		
37	森林ふれあい教室, 林業体験 等	宮城北部森林管理署				○		○	
38	百万本植樹事業	宮城県				○	○	○	
39	北上川水系河川水辺現地調査(底生動物)	北上川下流河川事務所				○	○		
40	鳴瀬川水系河川水辺現地調査(鳥類・植物)	北上川下流河川事務所				○		○	
41	名取川水系河川水辺現地調査(魚類)	仙台河川国道事務所				○			○
42	農地・水保全管理支払交付金	曾根地域環境を守る会				○	○		
43	農地・水保全管理支払交付金	おのだ城内・上区集落活動組織 ほか				○		○	
44	農地・水保全管理支払交付金	笠島ふる里集落資源保全隊 ほか				○			○
45	みやぎの里山林協働再生支援事業	宮城県				○	○	○	○
46	多田川広域河川改修事業(大江川工区)	宮城県				○		○	

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	石巻市生活環境部環境課
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	水生生物による水質調査
取組の目的	水質保全及び水質浄化意識の普及啓発を図ること。
実施場所	皿貝川(上流)
事業期間	平成24年8月5日
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 市内の幼児、小・中学生を対象として15名が参加し、皿貝川の水辺に生息する水生生物を調査し、水質について学んだ。
連携団体等	NPO法人ひたかみ水の里・石巻市環境保全リーダー
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">水生生物の採集風景</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>採集した水生生物</p> <p>採集した水生生物の確認</p> </div>	
取組の点検	採集した水生生物の結果から皿貝川の水質は(少し)汚い水だった。
今後の取組目標	今後も継続的に活動していく。

報告団体等 石巻市



# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	地方振興事務所 ほか
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	田んぼの学校(生き物調査, 水質調査)
取組の目的	農地や農地周辺に生息する生物の調査
実施場所	石巻市他
事業期間	—
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】                      (石巻市河南 北村小学校の例)                      「田んぼの昔と今」, 「農業水利施設が持つ役割」についての授業を通じ, 農業生産基盤を支える土地改良施設の重要性を認識して頂くとともに, 地域農業への関心を深めてもらうもの。                      また, 生き物調査, 水質調査を通じ, 地元の農業農村の環境への関心を深めてもらうもの。                      その他に流域で4回開催。</p>
連携団体等	県, 市町村, 土地改良区, 民間等
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>北村小学校での生き物調査①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>北村小学校での生き物調査②</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>前谷地小学校での生き物調査</p> </div> </div>	
取組の点検	各地域において, 田んぼの生き物調査が実施されている。
今後の取組目標	今後とも, 地元小学校や地域住民と協働して取組を行う。また, 継続調査(モニタリング)の充実を図る。

報告団体等 県農村振興課



# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	株式会社 一ノ蔵
対象流域	北上川流域・ <b>鳴瀬川流域</b> ・名取川流域
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	ふゆみずたんぼでの環境保全米栽培の実施
取組の目的	農薬や化学肥料に頼らない酒米の栽培方法の確立。
実施場所	一ノ蔵圃場
事業期間	通年
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>①環境保全型酒米栽培                  ②環境保全米ネットワークと連携した田んぼの生き物調査の実施                  ③農薬不使用冬水田んぼの取り組み。鳴瀬川からの用水でのふゆみずたんぼ                  ④宮城大学とグリーンツーリズム実施(農業体験を通して商品の企画をしてもらう)</p>
連携団体等	NPO法人環境保全米ネットワーク, 地元JA, 宮城大学
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ふゆみずたんぼ生き物調査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <p>ふゆみずたんぼ水入れ</p> <p>宮城大学グリーンツーリズム除草</p> </div>	
取組の点検	活動を広め、多くの仲間を増やす活動にする。
今後の取組目標	持続発展的な活動の継続

報告団体等 株式会社 一ノ蔵

## 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	自然塾カワセミクラブ
対象流域	北上川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">鳴瀬川流域</span> ・名取川流域
取組分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">清らかな流れ</span> ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	砂押川堤防環境保全活動
取組の目的	砂押川の水辺環境保全
実施場所	砂押川堤防
事業期間	平成24年6月, 平成24年12月7日
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>砂押川には多くの野鳥が飛来するため、環境保全が必要であり観察地域の清掃活動及び土手を覆うアレチウリ・クズ等の除去作業をしました。</p>
連携団体等	国土交通省・仙台土木事務所
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、同じ地域のアレチウリ・クズを除去しますが全ては取りきれていません(ごみ袋大で10袋位)。清掃に関してのごみについては、以前より減少していると思われていますが、風で飛ばされた発砲スチロールの箱や農業用と思われるビニール袋等もあります。</li> <li>・6月に国土交通省主催の全国一斉水質調査に参加。調査結果は平成23年度とほぼ変化ありません。</li> </ul>	
取組の点検	サークル会員の高齢化で作業に参加する人数が減っているという課題が残りました。
今後の取組目標	今後も同様の活動をする予定です。

報告団体等 多賀城市

## 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	大衡村河川愛護会
対象流域	北上川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">鳴瀬川流域</span> ・名取川流域
取組分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">清らかな流れ</span> ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	河川清掃
取組の目的	良好な河川の維持管理を実施し、天災を防止し、地域住民の福祉の向上に寄与する
実施場所	善川, 埋川, 楳田川, 杓掛川, 焼切川, 奥田川, 荒屋敷川など
事業期間	平成24年7月1日～平成25年3月31日
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 雑草木の刈払い
連携団体等	大衡村
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
取組の点検	参加者の高齢化により、事業内容の縮小が考えられる
今後の取組目標	事業継続

報告団体等 大衡村

# 流域水循環計画取組状況


平成24年度

団体名称	色麻町河川愛護会
対象流域	北上川流域・ <u>鳴瀬川流域</u> ・名取川流域
取組分類	<u>清らかな流れ</u> ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	河川清掃
取組の目的	河川の整備を行い天災を防止し、地域住民の協働の福祉を増進するため。
実施場所	花川, 深川, 保野川, 長谷川, 河童川など
事業期間	平成24年6月20日～平成24年7月6日
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 ・雑草木の刈り払い
連携団体等	色麻町
取組状況の結果・写真・図表等	
花川	
刈り払い前	刈り払い後
	
取組の点検	地域住民の高齢化により参加者が減少することが考えられる。
今後の取組目標	継続していきたい。

報告団体等 色麻町

## 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	松島町
対象流域	北上川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">鳴瀬川流域</span> ・名取川流域
取組分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">清らかな流れ</span> ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	ごみゼロ運動 秋の一斉清掃
取組の目的	清掃活動や美化運動を通じ、住民相互の交流とゴミのないきれいな町づくりを目指す。
実施場所	町内全域の公共の場所(道路・河川・公園・海岸・公共施設等)
事業期間	平成24年5月30日～6月5日, 9月23日～30日(その他行政区において定期的に実施)
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>平成10年度から毎年5月30日(ごみゼロ)及び秋の観光シーズンを「町内一斉清掃の日」とし、河川や道路、公園等の公共の場所の草刈り・ごみ拾いなどの清掃活動を実施している。</p>
連携団体等	各行政区・松島町公衆衛生組合連合会・町内小中学校等
取組状況の結果・写真・図表等	
	
取組の点検	吉田川、高城川の活動地域で美化活動を実施したが、ポイ捨てによるゴミや家電、タイヤ等の投棄が見られた。
今後の取組目標	事業を継続することによって、徐々に広がりつつある自分たちのまちをきれいにする取組が町全体に広がり、定期的実施されるようになることを目標とする。

報告団体等 松島町



流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	七ヶ浜町
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	海岸美化清掃 しちがはまクリーンサポートプログラム
取組の目的	海岸美化清掃により、良好な景観の形成・維持を行い、集客を目指す。
実施場所	町内の海岸各地
事業期間	平成24年度一年間
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 しちがはまクリーンサポートプログラム事業の実施 平成24年度は19団体が登録しており、うち17団体が海岸清掃を活動としており、砂浜に打ち上げられたごみや、レジャーなどによるポイ捨てごみを回収。
連携団体等	各ボランティア団体。
取組状況の結果・写真・図表等	
 <p>震災後の影響があり、実際に活動できた団体は5団体、のべ627名の参加であった。</p>	
取組の点検	震災に起因すると思われるがれき・流木など、ごみの漂着が続いている。
今後の取組目標	環境美化の輪が町全体そして町外からの利用者に広がるよう美化意識の浸透を図りながら、海岸清掃を行う。

報告団体等 七ヶ浜町





# 流域水循環計画取組状況


平成24年度

団体名称	仙台河川国道事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	総合学習
取組の目的	管内で持っている多種多様なフィールドを使った多種多様な学習支援活動を実施。
実施場所	広瀬川
事業期間	平成24年7月
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>7月11日、仙台市立郡山小学校3年生が、川とふれあい、水生生物の調査や水質調査を実施。</p> <p>7月19日、仙台市立郡山小学校2年生が、川とふれあい、水生生物を採取、観察を実施。</p> <p>7月26日、仙台市立八本松中学校1～3年生が、水生生物による簡易水質調査を実施。</p>
連携団体等	—
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>■仙台市立郡山小学校</p>  <p>▲水質調査を体験</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>■仙台市立郡山小学校</p>  <p>▲川底の観察</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;"> <p>■仙台市立八本松中学校</p>  <p>▲パックテストを使った水質調査</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲水生生物を調査中</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲水生生物を調査中</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>▲水生生物を調査中</p> </div> </div>	
取組の点検	総合学習の感想として、広瀬川への愛着と環境問題への意識の高揚を図ることができた。地域に流れている川を守り、大切にしていけることを学ぶことは重要だと思うなどの声が寄せられている。
今後の取組目標	今後も多種多様な学習ができるメニューを計画し、活動を継続していく。

報告団体等 東北地方整備局

流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	仙台市水道局
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	釜房ダム湖畔清掃・青下ダム周辺清掃
取組の目的	市民との協働により水源保全活動を実施するもの
実施場所	釜房ダム(柴田郡川崎町)および青下ダム(仙台市青葉区熊ヶ根)周辺
事業期間	釜房ダム湖畔清掃:平成24年9月29日, 青下ダム周辺清掃:平成24年11月11日
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>釜房ダム周辺のごみ拾いを実施</li> <li>青下ダム周辺のごみ拾いを実施</li> </ul>
連携団体等	釜房ダム湖畔清掃:川崎町, 釜房ダム管理所 青下ダム周辺清掃:大手門町内会
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p><b>清掃の様子</b></p> 	
取組の点検	参加者数(平成24年度実績) 釜房ダム湖畔清掃:70名 青下ダム周辺清掃:32名
今後の取組目標	より多くの市民に参加いただける水源保全活動を実施するほか, 環境関連の団体などとの協働による事業の実施を目指す。

報告団体等 仙台市



# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会										
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>										
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系										
活動事業名	広瀬川1万人プロジェクト(一斉清掃)										
取組の目的	杜の都・仙台市のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするための活動を行ないます。										
実施場所	広瀬川流域 14会場										
事業期間	一斉清掃：平成24年4月21日(土)10時～12時、平成24年9月29日(土)10時～12時、 フォーラム：平成25年2月1日(金)14時30分～18時										
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b></p> <p>杜の都・仙台市のシンボルである広瀬川の清流と自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするために、100万都市仙台の1%にあたる1万人をキーワードに、市民・企業・行政が連携して、春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を行ないます。市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉清掃 春の一斉清掃(平成24年4月21日実施)、秋の一斉清掃(平成24年9月29日実施)</li> <li>・フォーラム『広瀬川の魅力づくりと市民活動』の開催</li> </ul>										
連携団体等	実行委員会に加入している地元企業、および、国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所、環境省東北地方環境事務所、宮城県、名取市、仙台市(建設局河川課)など										
取組状況の結果・写真・図表等											
	<table border="1"> <tr> <td>春</td> <td>4会場</td> <td>788人</td> <td>472袋</td> </tr> <tr> <td>秋</td> <td>14会場</td> <td>1262人</td> <td>340袋</td> </tr> </table> <p>14会場で合計2,050人が参加し、ゴミ袋812個分のゴミを回収しました。清掃会場で参加者が楽しめる仕組みとしてフォトコンテストを実施しています。</p> <p>フォーラムには80名の参加がありました。フォーラム等の内容は、ほかの文化講座と合わせて冊子にまとめています。</p>			春	4会場	788人	472袋	秋	14会場	1262人	340袋
春	4会場	788人	472袋								
秋	14会場	1262人	340袋								
	 										
											
取組の点検	会場のゴミの量は改善されてきている。参加人数に対して拾うゴミが少ないため、活動の幅、或いは領域を広げる必要がある。										
今後の取組目標	平成22年度(平成23年度は4月中止のため)を上回る参加者を目指します。(平成22年度参加者:4月850名、9月1598名)										

報告団体等 仙台市



流域水循環計画取組状況





平成24年度

団体名称	広瀬川で遊ぼう実行委員会		
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>		
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>		
活動事業名	広瀬川で遊ぼう(親水イベント)		
取組の目的	広瀬川下流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、河川環境に対する関心の高揚を図ります。		
実施場所	広瀬川宮沢緑地		
事業期間	平成24年5月5日 10時～15時		
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられている事業です。</p> <p>鯉のぼり、広瀬川水族館、フリーマーケット、屋台、演劇、石ころアート、シャボン玉 など</p>		
連携団体等	地元町内会、NPO法人広瀬川ボートくらぶ、宮城県、仙台市など		
取組状況の結果・写真・図表等	<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>例年は5月3日から5日の3日間実施する『広瀬川で遊ぼう』ですが、平成24年度は大雨のため5/5(土)のみ開催されました。 参加者数:1,500人</p> <p>広瀬川の増水のため、Eボートおよび手漕ぎボートは中止となりました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		
取組の点検	地元町内会、商店会などとの連携がなかなか進まず、継続が危ぶまれている。		
今後の取組目標	地元企業・町内会などとの協働の仕組みを作ることで、事業の継続性と地域貢献に配慮します。		

報告団体等 仙台市

流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	広瀬川市民会議
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	広瀬川文化講座
取組の目的	広瀬川の歴史やまちづくりとの関わり、環境や生態系など、様々な視点から専門の講師をまねき、広瀬川についての理解を深めることで、広瀬川に対する関心の高揚を図ります。
実施場所	第3回,第4回:市民活動サポートセンター 第5回:せんだいメディアテーク
事業期間	平成24年5月5日 10時～15時
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b>                      広瀬川の歴史やまちづくりとの関わり、環境や生態系など、様々な視点から専門の講師をまねき、広瀬川についての理解を深めました。                      第3回(9/28):座談 広瀬川と作並温泉                      第4回(11/16):広瀬川とまちづくり                      第5回(2/1): 広瀬川の魅力づくりと市民活動</p>
連携団体等	仙台市
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>第3回(9/28):座談 広瀬川と作並温泉・・・作並温泉旅館組合長 岩松廣行氏ほか (47名)                      第4回(11/16):広瀬川とまちづくり・・・都市デザインワークス佐藤芳治氏 (24名)                      第5回(2/1): 広瀬川の魅力づくりと市民活動・・・鮭川村村長 元木洋介氏, (80名)                      広瀬川サケプロジェクト 菅原正徳氏,                      広瀬川の清流を守る会 日下均氏,                      水・環境ネット東北 芦野眞一郎氏,                      広瀬川ボートくらぶ 鈴木徹郎氏</p> <p>・計3回の実施により、151人の参加があった。                      [まとめ冊子の発行]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> 	
取組の点検	参加人数は安定しており、広瀬川に対する関心の高さがうかがえる。継続して実施していく。
今後の取組目標	定期的を開催することで市民に広瀬川への関心を定着させ、計3回開催、延べ90人の参加を目指します。

報告団体等 仙台市

流域水循環計画取組状況





平成24年度

団体名称	作並かつば祭り実行委員会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	作並かつば祭り(親水イベント)
取組の目的	広瀬川上流域の魅力を活かした水に親しめるイベントを開催し、子どもたちに川の魅力と危険性を伝え、河川環境に対する関心の高揚を図ります。
実施場所	広瀬川支流 新川
事業期間	平成24年7月21日(土)10時～15時
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>ニッカウキスキー株式会社敷地前の河川敷地で、河川上流域の魅力と特色を活かしたイベントを実施しました。</p> <p>市民・企業・行政が協働により策定した「広瀬川創生プラン」において、重点事業として位置づけられている事業です。</p> <p>1)川遊び 2)ニジマスつかみどり 3)スイカ割り 4)石ころアート 5)模擬店 など</p>
連携団体等	実行委員会に加入している地元企業、団体、および、宮城県、仙台市など
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>雨のため川に入るには肌寒い気候でしたが、400名の参加がありました。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">    </div>	
取組の点検	地元企業・団体との連携が強化され、地域の事業として定着してきている。会場および駐車場の制約で参加者が増えた場合の対応を検討する必要がある。
今後の取組目標	地元企業・町内会などとの協働の仕組みを作ることで、事業の継続性と地域貢献に配慮します。

報告団体等 仙台市

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	特定非営利活動法人 宮城県河川環境研究会
対象流域	北上川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">鳴瀬川流域</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">名取川流域</span>
取組分類	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">清らかな流れ</span> ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">豊かな流れ</span> ・安全な流れ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">豊かな生態系</span>
活動事業名	身近な水環境全国一斉調査 ほか
取組の目的	水質調査を通してマップ作成へ情報提供等
実施場所	七北田川上流～下流
事業期間	平成24年6月19日
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】(上記事業のほか)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 蔵王町立永野小学校総合学習支援(白石川支流松川の生き物について学んだ)</li> <li>2) 研修会(震災後の自然環境と復興に関する研修を行った)</li> <li>3) 加美町立中新田小学校4年生総合学習支援(鳴瀬川の河川環境等について学んだ)</li> <li>4) 魚道施設等に関する技術指導を行った</li> </ol>
連携団体等	県河川課, 県環境対策課, 仙台・大河原土木事務所, 民間企業ほか
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>身近な水環境調査風景(6月)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>総合学習風景(永野小学校・7月)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>研修会風景(仙台市内・8月)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>総合学習風景(中新田小学校・11月)</p> </div> </div>	
取組の点検	河川環境調査等により参加者の意識の向上が図られた。 総合学習を通して自然環境保全等に関する意識啓蒙が図られた。
今後の取組目標	今後とも、県内各河川環境状況調査を継続的に行うとともに、研修会などを通し生態系保全に努めたい。

報告団体等      特定非営利活動法人 宮城県河川環境研究会



流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	環境保全型農業実践者等												
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域												
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系												
活動事業名	環境保全型農業直接支援対策												
取組の目的	農業者等が行う化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組とセットで、目的達成に効果の高い営農活動を行う農業者等を支援し、農業分野における地球温暖化防止や生物多様性保全に資する。												
実施場所	環境保全型農業直接支援対策実施市町村												
事業期間	平成23年度～												
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 地球温暖化防止や生物多様性保全に資する「有機農業」や「冬期湛水管理」、「カバークロープ栽培」の取組が11市町、313件、1,048haで実施された。												
連携団体等													
取組状況の結果・写真・図表等													
<p><b>本県における環境保全型農業直接支援対策の実績</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成23年度</th> <th>平成24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取組市町数</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>取組件数(件)</td> <td>146</td> <td>313</td> </tr> <tr> <td>取組面積(ha)</td> <td>418</td> <td>1,048</td> </tr> </tbody> </table> <p>※化学肥料・化学合成農薬の5割低減の取組とセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行った面積に応じて、掛かり増し経費と活動にかかる経費を交付するもの。</p>		年 度	平成23年度	平成24年度	取組市町数	9	11	取組件数(件)	146	313	取組面積(ha)	418	1,048
年 度	平成23年度	平成24年度											
取組市町数	9	11											
取組件数(件)	146	313											
取組面積(ha)	418	1,048											
取組の点検	事業開始年次(平成23年度)から取組件数及び面積ともに拡大した。												
今後の取組目標	本対策は、本県の環境保全型農業推進の牽引役となるため、今後とも取組件数及び面積の拡大に向けて支援を行う。												

報告団体等 県農産園芸環境課

## 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	北上川水系水質汚濁対策連絡協議会 江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	北上川水系及び鳴瀬川水系の良好な河川環境の保全に向けた取り組み
取組の目的	河川・湖沼および水路等の河川水質汚濁対策および河川環境の保全
実施場所	北上川流域及び鳴瀬川流域
事業期間	北上川水系:昭和50年度(設立年度)～ 鳴瀬川水系:昭和54年度(設立年度)～
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の水質汚濁防止対策のための連絡調整</li> <li>・水質事故に備えた通報訓練および現地対応訓練の実施</li> <li>・河川ゴミ対策および水質汚濁防止に関する啓蒙活動</li> </ul>
連携団体等	国土交通省, 経済産業省, 宮城県, 北上川及び鳴瀬川流域市町村, 消防本部, など
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「川をきれいに」をテーマとした 児童からの図画・ポスター展示(H24実施状況)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>油流出事故に備えたオイルフェンス設置訓練(H24実施状況)</p> </div> </div>	
取組の点検	平成24年度の水質事故件数は18件(北上川水系11件, 鳴瀬川水系7件)と, 昨年度(16件:北上川水系6件, 鳴瀬川水系10件)に比べ増加していることから, 継続的な取り組みが必要。
今後の取組目標	今後も, 河川や湖沼等の水質汚濁対策の推進や環境保全, 水質改善に努めていく。

報告団体等      東北地方整備局

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	名取川水系水質汚濁対策連絡協議会		
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>		
取組分類	<b>清らかな流れ</b> ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系		
活動事業名	名取川水系の良好な河川環境の保全に向けた取組		
取組の目的	名取川水系の河川・湖沼及び水路について河川水質汚濁対策及び河川環境の保全を図ること		
実施場所	名取川流域		
事業期間	昭和48年6月～		
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の水質汚濁防止対策のための連絡調整</li> <li>・水質事故に備えた通報訓練および現地対応訓練の実施</li> <li>・河川ゴミ対策および水質汚濁対策に関する啓発活動</li> </ul>		
連携団体等	国土交通省, 宮城県, 沿川自治体, 経済産業省, 流域内消防本部		
取組状況の結果・写真・図表	<p>【掲載内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協議会開催状況</li> <li>2. 水質事故マップ</li> <li>3. 現地対応訓練状況</li> <li>4. 河川一斉清掃状況</li> </ol>		
			
			
取組の点検	平成24年度の水質事故件数は3件と、昨年度に比べ減少傾向ではあるが、継続的な取組みが必要。		
今後の取組目標	今後も、河川や湖沼等の水質汚濁対策の推進や環境保全、水質改善に努めていく。		

報告団体等 東北地方整備局

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	スマイルサポーター(総称)																
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域																
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系																
活動事業名	みやぎスマイルリバー・プログラム																
取組の目的	県管理河川におけるボランティア活動を支援し、ボランティア活動の活性化及び河川に関する地域環境の維持向上を通して、住民参加のまちづくりを図ること																
実施場所	県が管理する一級河川及び二級河川																
事業期間	平成15年4月1日～(継続中)																
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b></p> <p>以下の要件を満たす場合に、管轄する土木事務所長が認定し、団体名を表示した看板を設置する(希望する場合)。また、活動に備えて傷害保険にも加入している。</p> <p>&lt;要件&gt;</p> <p>○活動人数:10人以上 ○活動規模:延長200m以上</p> <p>○活動構成:地域住民、企業、市民団体、学校等 ○活動頻度:年2回以上</p>																
連携団体等	関係市町村																
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p style="text-align: center;">各流域におけるスマイルサポーターの認定・活動状況については下記のとおり</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度末 認定団体数</th> <th>うち平成24年度 新規認定団体数</th> <th>主な活動区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北上川流域</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>迫川、長者川</td> </tr> <tr> <td>鳴瀬川流域</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>鳴瀬川、砂押川</td> </tr> <tr> <td>名取川流域</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>広瀬川、七北田川</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>北上川水系長崎川における活動状況 (草刈りの様子)</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>名取川水系増田川における活動状況 (清掃活動で回収したごみ)</p>  </div> </div>			平成24年度末 認定団体数	うち平成24年度 新規認定団体数	主な活動区域	北上川流域	37	2	迫川、長者川	鳴瀬川流域	6	1	鳴瀬川、砂押川	名取川流域	40	5	広瀬川、七北田川
	平成24年度末 認定団体数	うち平成24年度 新規認定団体数	主な活動区域														
北上川流域	37	2	迫川、長者川														
鳴瀬川流域	6	1	鳴瀬川、砂押川														
名取川流域	40	5	広瀬川、七北田川														
取組の点検	スマイルサポーターについては認定団体が増加しており、活動延長も増加している。																
今後の取組目標	引続き登録団体が増加するように周知活動等を実施していく。																

報告団体等 県河川課



# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城県(下水道課)							
対象流域	北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域							
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系							
活動事業名	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)							
取組の目的	汚水処理人口普及率の向上							
実施場所	北上川流域を構成する全市町村							
事業期間	平成7年度～平成32年度							
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b>                  県民が快適な生活を営むことができるよう、排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させると共に、良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ、循環型の豊かな水環境を形成しようとするもの。                  平成22年3月の改訂時に設定された平成32年度末の短期目標を目指して各種事業を実施した。                  平成23年3月11日に発生した東日本大震災にて石巻東部浄化センターが甚大な被害を受けたため、復旧工事を行った。</p>							
連携団体等	関係市町村 整備済区域に居住する県民							
取組状況の結果・写真・図表等 ◎管理指標の経過								
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">H24実績</th> <th style="width: 35%;">H32目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚水処理人口普及率</td> <td style="text-align: center;">88.5%</td> <td style="text-align: center;">94.5%</td> </tr> </tbody> </table>				H24実績	H32目標	汚水処理人口普及率	88.5%	94.5%
	H24実績	H32目標						
汚水処理人口普及率	88.5%	94.5%						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>北上川下流流域下水道 石巻浄化センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>北上川下流東部流域下水道 石巻東部浄化センター</p> </div> </div>								
取組の点検	目標に向けて着実に処理人口普及率が向上している。							
今後の取組目標	生活排水処理基本構想は平成22年度に改訂され、平成32年度目標値を新たに定めた。 県全体では、94.5%の目標値達成を目指して各種施策を講じる。							

報告団体等 県下水道課

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城県(下水道課)							
対象流域	北上川流域 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">鳴瀬川流域</span> ・ 名取川流域							
取組分類	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">清らかな流れ</span> ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系							
活動事業名	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)							
取組の目的	汚水処理人口普及率の向上							
実施場所	鳴瀬川流域を構成する全市町村							
事業期間	平成7年度～平成32年度							
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b>                  県民が快適な生活を営むことができるよう、排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させると共に、良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ、循環型の豊かな水環境を形成しようとするもの。                  平成22年3月の改訂時に設定された平成32年度末の短期目標を目指して各種事業を実施した。</p>							
連携団体等	関係市町村 整備済区域に居住する県民							
取組状況の結果・写真・図表等 ◎管理指標の経過								
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">H24実績</th> <th style="width: 35%;">H32目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚水処理人口普及率</td> <td style="text-align: center;">88.5%</td> <td style="text-align: center;">94.5%</td> </tr> </tbody> </table>				H24実績	H32目標	汚水処理人口普及率	88.5%	94.5%
	H24実績	H32目標						
汚水処理人口普及率	88.5%	94.5%						
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>鳴瀬川流域下水道 鹿島台浄化センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>吉田川流域下水道 大和浄化センター</p> </div> </div>								
取組の点検	目標に向けて着実に処理人口普及率が向上している。							
今後の取組目標	生活排水処理基本構想は平成22年度に改訂され、平成32年度目標値を新たに定めた。 県全体では、94.5%の目標値達成を目指して各種施策を講じる。							

報告団体等                      県下水道課

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城県(下水道課)							
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">名取川流域</span>							
取組分類	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">清らかな流れ</span> ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系							
活動事業名	甦る水環境みやぎ(生活排水処理基本構想)							
取組の目的	汚水処理人口普及率の向上							
実施場所	名取川流域を構成する全市町村							
事業期間	平成7年度～平成32年度							
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b>                  県民が快適な生活を営むことができるよう、排水を下水道等の施設によって適正に処理する割合を向上させると共に、良好な放流水質を確保することで「更に生きる水」として甦らせ、循環型の豊かな水環境を形成しようとするもの。                  平成22年3月の改訂時に設定された平成32年度末の短期目標を目指して各種事業を実施した。                  平成23年3月11日に発生した東日本大震災にて仙塩浄化センター・県南浄化センターが甚大な被害を受けたが、復旧を完了した。</p>							
連携団体等	関係市町村 整備済区域に居住する県民							
取組状況の結果・写真・図表等 ◎管理指標の経過								
<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">H24実績</th> <th style="width: 35%;">H32目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚水処理人口普及率</td> <td style="text-align: center;">88.5%</td> <td style="text-align: center;">94.5%</td> </tr> </tbody> </table>				H24実績	H32目標	汚水処理人口普及率	88.5%	94.5%
	H24実績	H32目標						
汚水処理人口普及率	88.5%	94.5%						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>仙塩流域下水道 仙塩浄化センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>阿武隈川下流域下水道 県南浄化センター</p> </div> </div>								
取組の点検	目標に向けて着実に処理人口普及率が向上している。							
今後の取組目標	生活排水処理基本構想は平成22年度に改訂され、平成32年度目標値を新たに定めた。 県全体では、94.5%の目標値達成を目指して各種施策を講じる。							

報告団体等                      県下水道課



団体名称	特定非営利活動法人あぐりねっと21
	北上川流域 ・ 鳴瀬川流域 ・ 名取川流域
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ 豊かな生態系
活動事業名	①「南小エコころ研究所 七郷堀を追え！」 ②「南小泉小学校 環境調査隊！七郷付近の水田と長喜城の居久根」
取組の目的	広瀬川の河川の様子を見学し、続いて学区内を流れる七郷堀の役割と堀の現状や昔の水路の利活用などを地域の人の話を聞いて学ぶ。また、下流域の水田では居久根や水路の生き物調査や水質検査など環境調査を行い、身近な生態系と農村生活環境について学習する。これらをとおして河川の役割や流れる水の働きについて理解すると同時に、身近な水辺の生き物や水路の安全についても併せて学ぶ。
実施場所	仙台市若林区, 広瀬川愛宕堰から七郷堀沿線域及び下流域の水田と長喜城周辺
事業期間	①平成24年5月22日(火) ②平成24年8月29日(水)
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 ・仙台東土地改良区の職員から管内の概要について説明を受ける。 ・長喜城の居久根周辺及び水田や小排水路における環境調査(植物, 野鳥, 水質, 魚類, 昆虫)を行う。 ・七郷堀の流量観測と用水施設(愛宕堰, 按配堀分水施設, 高砂堀分水, 昔の分水跡)の見学 ・七郷堀の水を利活用してきた地域の生活についてお話を聞く。
連携団体等	仙台東土地改良区, 南小泉小学校保護者の皆さん, 宮城県仙台地方振興事務所農業農村整備部, 宮城県土地改良事業団体連合会, (株)復建技術コンサルタント, (株)サトー技建, NPO法人あぐりねっと21
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>七郷堀と受益地域の概要について説明を受けた様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>居久根の所有者による説明を受けた様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>植物の専門家による説明を受けた様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水生生物の専門家による説明を受けた様子</p> </div> </div>	
取組の点検	この取り組みでは七郷地域の概要とそこを流れる用水路の役割を学習したが、その成果発表や感想を述べ合う機会を設けると、なお良い。
今後の取組目標	学習発表の内容を地域の人々にも発信し、交流の一助になるよう企画する。その交流をとおして地域の歴史や生活を理解するとともに、自分も地域の一員であることが自覚できるようにする。また用水との関わりを意識付けできるよう図っていく。



## 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	仙台市(環境局環境対策課)
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">名取川流域</span>
取組分類	清らかな流れ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">豊かな流れ</span> ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	天水桶手づくり講座の開催
取組の目的	天水桶作りを通して天水桶の構造や原理を知り、天水桶の普及を図り、水環境を健全に保つことの大切さについて理解を深めていただくことを目的としています。
実施場所	七北田公園都市緑化ホール
事業期間	平成24年7月7日(日)10時～12時半
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b></p> <p>平成23年度からは、ウイスキー樽を用いた仙台天水桶に替えて、大型ゴミ箱等の身近な材料を利用して天水桶を作製していただくことになりました。</p> <p>(1) 講演 10:00～11:00 「雨水は何処に行くのでしょうか？(雨水処理と下水道)」 (講師 仙台市建設局下水道計画課計画係 仲道係長)</p> <p>(2) 手づくり講座 11:00～12:30 ①作業の説明 ②作業開始(6グループに分かれて実施) ③「仙台天水桶」抽選会</p>
連携団体等	仙台リバーズネット・梅田川
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: left;"> <p>申込者数:100名以上(先着順で参加者決定) 参加者数:51名</p> <p>写真上:講演の様子 写真左下:手づくり講座の様子 写真右下:抽選会の様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
取組の点検	
今後の取組目標	今後もイベントを継続し、天水桶の啓発と併せて、雨水利用と水環境に関する意識向上を目指します。また、参加者からのアンケート結果を参考に内容の充実化を図ります。

報告団体等                      仙台市



流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林保全整備事業等
取組の目的	国有林野施業実施計画に基づく機能類型、施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源かん養機能の維持増進
実施場所	北上川流域
事業期間	平成21年度～平成25年度
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生物多様性及び地球温暖化のための森林整備 未施業森林の整備 450ha</li> <li>○保安林の適正な整備 未間伐森林の整備 380ha</li> </ul>
連携団体等	なし
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>○ 多様性に富む森林の整備 [実施例]除伐等による森林整備</p> <p style="text-align: right;">面積 179ha (H24)</p> 	
取組の点検	生物多様性の保全、地球温暖化防止対策及び保安林の適正な森林整備を目的として計画的な事業実行に努めている。
今後の取組目標	平成25年度までの事業期間において、以下のとおり計画している。 ・未施業森林の整備 162ha ・未間伐森林の面積 368ha

報告団体等 宮城北部森林管理署

流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林保全整備事業等
取組の目的	国有林野施業実施計画に基づく機能類型、施業群等に応じた生物多様性の保全、地球温暖化防止対策の推進及び保安林の適正な整備による水源かん養機能の維持増進
実施場所	鳴瀬川流域
事業期間	平成21年度～平成25年度
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生物多様性及び地球温暖化のための森林整備 未施業森林の整備 200ha</li> <li>○保安林の適正な整備 未間伐森林の整備 370ha</li> </ul>
連携団体等	なし
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>○ 多様性に富む森林の整備 [実施例]除伐等による森林整備</p> <p style="text-align: right;">面積 110 ha (H24)</p> 	
取組の点検	生物多様性の保全、地球温暖化防止対策及び保安林の適正な森林整備を目的として計画的な事業実行に努めている。
今後の取組目標	平成25年度までの事業期間において、以下のとおり計画している。 ・未施業森林の整備 59ha ・未間伐森林の面積 339ha

報告団体等 宮城北部森林管理署



団体名称	宮城県(林業振興課・森林整備課)
対象流域	北上川流域・ <b>鳴瀬川流域</b> ・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・ <b>安全な流れ</b> ・豊かな生態系
活動事業名	海岸林再生キックオフ植樹
取組の目的	海岸林の再生に向けた植樹式の開催
実施場所	七ヶ浜町湊浜
事業期間	平成24年6月
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>県内の海岸林は、伊達藩政時代から約400年にわたって造成・管理され、潮風や飛砂から背後の集落等を守ってきたが、東日本大震災の津波被害により、流出・倒状など甚大な被害を受けた。このため、早期の海岸林再生に向けた第一歩となる植樹式を、関係機関や一般県民の参加のもと開催した。</p>
連携団体等	東北森林管理局, 七ヶ浜町, 宮城県林業振興協会等関係団体, 一般県民
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <p>植栽樹種                  ・松くい虫抵抗性クロマツ 1,000本 ・ヤマザクラ 250本 ・コナラ 250本</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
取組の点検	
今後の取組目標	関係機関との調整や、ボランティア等の協力のもと、早期の海岸林再生に努めていく。

報告団体等 県林業振興課, 森林整備課

団体名称	農林水産省
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	環境配慮施設の効果的な配置手法確立調査
取組の目的	農業農村整備事業における環境配慮の質を一層向上させるため、農業用排水路に生息する魚類を対象として、環境配慮施設の配置間隔、組合せなどの観点から効果的な配置手法を検討する。
実施場所	宮城県登米市 宮城県営農地整備事業(経営体育成型)「飯島地区(伊豆崎)」
事業期間	平成23年度～平成25年度
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>農業用排水路に生息する魚類を対象として、農業用排水路とドジョウ等の産卵場である水田の分断を解消するため水田魚道を設置し、水田魚道の設置の有無や設置数の違いによる魚類の生息類を調査し、効果的な配置手法の検討を行った。</p> <p>平成24年度の具体的な調査は、「農業用排水路における生息状況及び環境情報の把握」、「水田魚道遡上及び降下状況の把握」、「水田における生息状況の把握」等を行った。</p>
連携団体等	新田北部土地改良区

取組状況の結果・写真・図表等

**調査対象水路と水田魚道の配置状況**

**末端排水路に設置した水田魚道**









**【調査結果概要】**

- ◆排水路において最も多く確認された種は、メダカであり、ドジョウ、モツゴ、フナ等が確認された。
- ◆水田魚道を遡上した魚類はメダカが最も多く、ドジョウ、モツゴ等が確認された。
- ◆水田からの降下した魚類は、ドジョウが最も多く、メダカ、モツゴ等が確認された。

取組の点検	—
今後の取組目標	—

流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	東北地方環境事務所
対象流域	北上川流域、鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	平成24年度国指定伊豆沼鳥獣保護区伊豆沼外来魚駆除事業
取組の目的	オオクチバス、ブルーギル等による被害の低減と在来の生態系の復元。(オオクチバス、ブルーギル等の駆除を実施し、生息状況の変化を把握することにより、今後の駆除手法の改善及び水鳥等の集団飛来地としての生息環境の保全に資することを目的とする。)
実施場所	伊豆沼・内沼地内(宮城県栗原市及び登米市)
事業期間	平成24年4月26日～10月31日
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>ラムサール条約登録湿地である伊豆沼・内沼において、生物多様性の保全や漁業資源の保護のため、オオクチバス、ブルーギル等による被害を低減することを目的に駆除を実施し、繁殖抑制・個体数抑制に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角網を用いた浮遊稚魚の駆除(稚魚すくい)</li> <li>・人工産卵床を用いた卵、仔魚、稚魚、成魚の駆除</li> <li>・引き網、巻き網を用いた駆除(試験的な取組)</li> </ul>
連携団体等	請負事業
<p>取組状況の結果・写真・図表等</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 人工産卵床の設置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 人工産卵床の成魚(ブルーギル)を駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 三角網による駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 人工産卵床の卵を駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【捕獲された外来魚】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ ブルーギル(成魚)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ 定置網による駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲ オオクチバス(稚魚)</p> </div> </div>	
取組の点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稚魚サイズに合わせた効果的な駆除方法の開発</li> <li>・産卵状況の把握</li> <li>・オオクチバス、ブルーギル等の生息状況の把握</li> </ul>
今後の取組目標	防除手法の改良・確率、オオクチバス、ブルーギル等の繁殖生態の解明、地域主導型防除活動の推進

報告団体等 東北地方環境事務所



流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城県(自然保護課)
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	伊豆沼・内沼自然再生事業
取組の目的	自然環境の遷移の進行を抑制するとともに劣化した環境機能を修復し、多様な生物が生息、生育する淡水湖沼の生態系を有していた頃の伊豆沼・内沼への再生を目指す。
実施場所	栗原市, 登米市内の伊豆沼・内沼流域
事業期間	平成22年度～
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>(1) 伊豆沼・内沼自然再生協議会の開催</p> <p>(2) 自然再生事業の実施</p> <p>① 沈水植物増殖・移植(生け簀方式によるクロモ増殖実験, 埋土種子発芽実験 等)</p> <p>② 水生植物適正管理(ヨシ・ハス刈り取り, ヤナギ魚礁によるマコモ植栽)</p> <p>(3) 外来魚低密度管理技術等の開発・検証事業</p>
連携団体等	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団(上記(2), (3)の委託先)

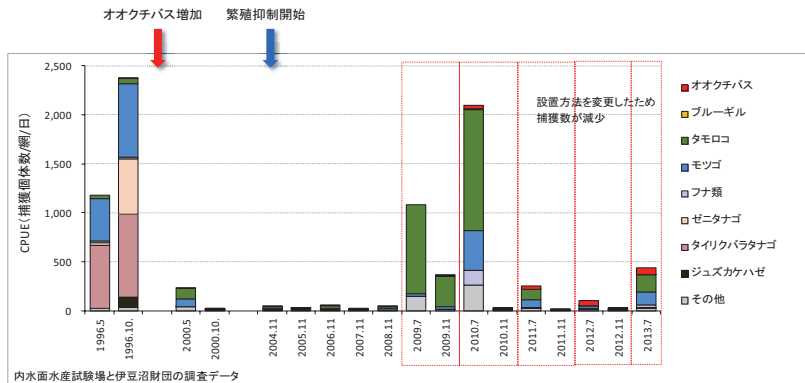
取組状況の結果・写真・図表等



ヤナギ魚礁によるマコモ植栽作業の状況



巻き網による外来魚稚魚の駆除状況



定置網による在来魚類の捕獲数

取組の点検	継続的な調査や、新技術の開発・実験により、クロモの増殖・移植など、一部の取組では効果的な手法が確立されてきた。
今後の取組目標	これまでの実験等により効果的な手法が確立されたものについては、実施・検証を行いながら、段階的に規模を拡大していく。

報告団体等 県自然保護課



流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	石母田ふるさと保全会
対象流域	北上川流域・ <u>鳴瀬川流域</u> ・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <u>豊かな生態系</u>
活動事業名	めだかの学校「びおと一ぷ」での田植え・苗の投げ植え
取組の目的	農地や農地周辺に生息する生物の調査
実施場所	加美町
事業期間	
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 石母田ふるさと保全会が農地・水保全管理支払い交付金の活動の一環として、地元の小学生を招いて田植えや生き物の調査を行った。
連携団体等	
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採取した生き物の観察①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採取した生き物の観察②</p> </div> </div>	
取組の点検	各地域において、田んぼの生き物調査が実施されている。
今後の取組目標	今後とも、地元小学校や地域住民と協働して取組を行う。また、継続調査(モニタリング)の充実を図る。

報告団体等 県農村振興課

## 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	川崎町
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">名取川流域</span>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">豊かな生態系</span>
活動事業名	「水源の森づくり」育樹祭
取組の目的	活力ある緑の造成，気運を高め，次世代に渡る連体制を深めること
実施場所	柴田郡川崎町大字前川字再拜山
事業期間	平成17年～
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>川崎町森林組合に講師を依頼し，枝打ち体験・木工体験・飯盒炊爨・木の実当てクイズ等を行い，町民等への森林機能に対する理解を深めてもらう。</p>
連携団体等	川崎町森林組合，NPO法人川崎の森を育む家づくりネットワーク，キリンビール株式会社，釜房ダム水源地域ビジョン推進委員会，NPO法人川崎町の資源をいかす会
取組状況の結果・写真・図表等	
   	
取組の点検	体験コーナーの拡充を目指したい
今後の取組目標	参加者の増員を目指し，内容の拡充を図る

報告団体等 川崎町

団体名称	各地方振興事務所他
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	「田んぼの学校」生き物調査 等
取組の目的	農地や農地周辺に生息する生物の調査
実施場所	川崎町, 加美町他
事業期間	
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】                  (川崎町での例)                  実施主体:大河原地方振興事務所                  協力機関:川崎第二小学校, 水土里ネットかわさき                  開催主旨:水田や水路の生き物調査を通じて, 農業農村の多面的役割を説明し, 地域農業の環境について, 学ぶことを目的として開催。                  川崎町での開催の他, 流域で2回実施。</p>
連携団体等	県, 市町村, 土地改良区, 学校, 民間等
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>生き物調査の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>採取した生き物の観察・記録</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>仙台七夕まつりでの生き物の観察</p> </div> </div>	
取組の点検	各地域において, 田んぼの生き物調査が実施されている。
今後の取組目標	今後とも, 地元小学校や地域住民と協働して取組を行う。また, 継続調査(モニタリング)の充実を図る。

流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林ふれあい教室, 林業体験 等
取組の目的	森林の整備・保全への国民参加の促進
実施場所	北上川流域
事業期間	平成21年度～平成25年度
取組の概要	【平成24年度の主な取組】 ○森林整備活動 栗原市 0.20ha(植付)
連携団体等	NPO等
取組状況の結果・写真・図表等	
 <p style="text-align: center;">植樹活動の様子</p>	
取組の点検	地元NPO等により森林整備活動が実施されており、フィールドの提供等を行っている。
今後の取組目標	フィールドの提供及び森林ふれあい教室や林業体験等を実施し、県民が森林とふれあう機会を多く設けることで事業の充実を図る。

報告団体等 宮城北部森林管理署



流域水循環計画取組状況

平成24年度

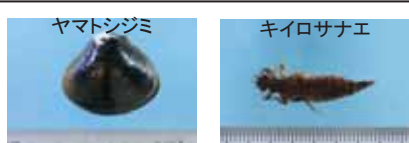
団体名称	宮城北部森林管理署
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	森林ふれあい教室, 林業体験 等
取組の目的	森林の整備・保全への国民参加の促進
実施場所	鳴瀬川流域
事業期間	平成21年度～平成25年度
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <p>○森林整備活動                  大和町 7.28ha(下刈, 除伐, 枝打ち等)                  1.40km(歩道整備等)</p>
連携団体等	一般企業, NPO等
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>林内での学習会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>歩道整備の様子</p> </div> </div>	
取組の点検	企業のCSR活動及び地元NPOの活動として森林整備活動が実施されており、フィールドの提供等を行っている。
今後の取組目標	フィールドの提供及び森林ふれあい教室や林業体験等を実施し、県民が森林とふれあう機会を多く設けることで事業の充実を図る。

報告団体等 宮城北部森林管理署

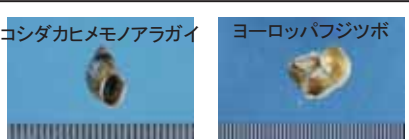


団体名称	北上川下流河川事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	北上川水系河川水辺現地調査(底生動物)
取組の目的	北上川水系における底生動物の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	北上川水系直轄管理区間
事業期間	平成24年4月～平成25年3月
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>底生動物の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。</li> <li>特定外来種等の分布状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> <li>重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> </ul>
連携団体等	—

取組状況の結果・写真・図表等



確認された重要種(17種うち6種が新規)



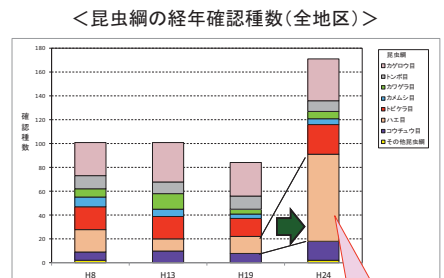
確認された外来種(10種うち5種が新規)

経年比較(確認種数の推移)

- 平成24年度の確認種数が大幅に増加したのは、昆虫綱の種類数の増加が要因となっている。
- 特にハエ目の種類数の増加が著しく平成24年度は、過年度の種類数よりも3倍以上増加している。

昆虫綱の確認種数  
平成8～19年度 → 100種程度  
平成24年度 → 170種程度

- ※地区数、回数の変更状況
- 調査地区数  
平成8、平成13は13地区  
平成19、平成24(今回)は12地区
  - 調査回数  
平成8、平成13は年に3回  
平成19、平成24(今回)は年に2回



確認種数の増加は、おもに分類研究が進んだことによる。

ハエ目の  
種数増加  
が顕著

取組の点検	生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的手法で調査を実施する。

団体名称	北上川下流河川事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・豊かな生態系
活動事業名	鳴瀬川水系河川水辺現地調査(鳥類・植物)
取組の目的	鳴瀬川水系における鳥類・植物の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	鳴瀬川水系直轄管理区間
事業期間	平成24年4月～平成25年3月
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥類・植物の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。</li> <li>特定外来種等の分布状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> <li>重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> </ul>
連携団体等	—

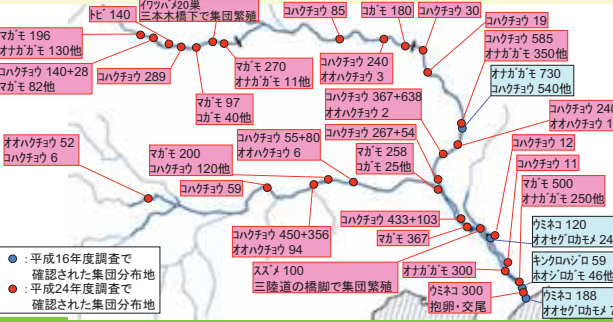
取組状況の結果・写真・図表等

○鳥類の確認種数は13目31科105種。  
 ○確認種のうち、スズメ目が41種で全体の39.0%を占め、次いでカモ目が21種(20.0%)、チドリ目が12種(11.4%)。

○植物の確認種数は、全体で105科702種。  
 ○季別では、春季に395種、夏季に429種、秋季に511種。  
 ○確認種数は、上流側の調査地区で多い傾向。

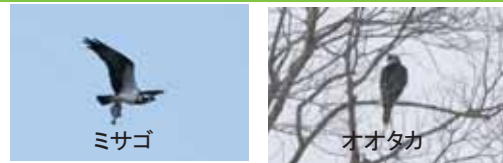
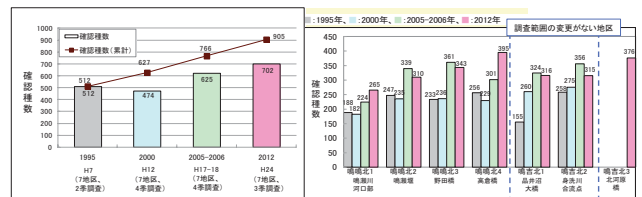
鳥類集団分布地の変化

- 前回調査時に河口部の砂州で確認されていたカモ類の集団休息地は被災により消失した。
- 背割堤の下流で新たにウミネコの集団繁殖地が確認されたほか、全川で主にカモ類の集団分布地が確認された。
- 集団分布地の増加は、調査方法をスポットセンサス調査に変更したことで、全川を調査できるようになったためと考えられる。



経年比較(確認種数の推移)

- 植物相調査における確認種数は、第1～4回調査の累計で115科905種となった。(前回調査までの植生断面調査、群落組成調査と、移動中確認種を除いて集計)
- 今回の確認種数(702種)は、全調査回で最も多かった。
- 調査地区ごとにもみると、前回調査(H17-18)と比べて確認種数が増加したのは、鳴鳴北1と鳴鳴北4の2地区であった。
- 調査範囲の変更がない2地区(鳴吉北1、鳴吉北2)で確認種数が減少したのは、年間調査回数が1回少ないことが影響した可能性が考えられた。



取組の点検	生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的手法で調査を実施する。



団体名称	仙台河川国道事務所
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域・ <b>名取川流域</b>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	名取川水系河川水辺現地調査(魚類)
取組の目的	名取川水系における魚類の生息状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。
実施場所	名取川水系直轄管理区間
事業期間	平成24年4月～平成25年3月
取組の概要	<p>【平成24年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>魚類の生息状況の経年変化を確認し、工事や災害による影響等を把握する。</li> <li>特定外来種等の分布状況を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> <li>重要種の分布状況等を把握し、河川管理上の基礎資料とする。</li> </ul>
連携団体等	—

取組状況の結果・写真・図表等

■ 調査状況

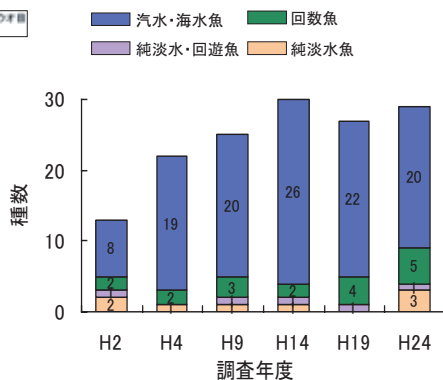
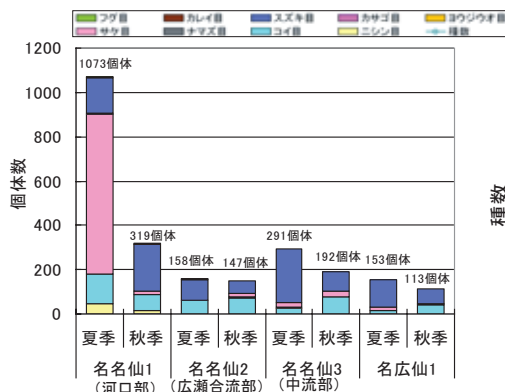


《ギバチ(重要種)》



《ヒモハゼ(重要種)》

■ 調査結果



■ 重要種・特定外来種

- 重要種
  - ギバチ
  - サクラマス
  - ヒモハゼ
- 特定外来種
  - ブルーギル
  - オオクチバス

取組の点検	生物の生息・生育環境等に関するデータは、河川の整備・管理に必要な基礎的情報である。
今後の取組目標	良好な河川空間の整備・保全に資するべく、今後も管理河川を対象に、河川環境の基礎的な状況を定期的、継続的、統一的手法で調査を実施する。

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	曾根地域環境を守る会
対象流域	(北上川流域)・鳴瀬川流域・名取川流域
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・(豊かな生態系)
活動事業名	農地・水保全管理支払交付金
取組の目的	農地・農業用水等の資源は、地域共同の活動により保全管理されてきたところであるが、衰退する地域主体の保全管理の取り組みを強化するため、資源の保全管理活動や農村環境の保全活動、農地周りの農業用施設の長寿命化等に取り組む活動組織を支援するもの。
実施場所	栗原市曾根地域
事業期間	平成19年度～
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b>                      (曾根地域環境を守る会の一例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地・農業用水等の資源保全活動                          農地面積A=95.5ha 水路延長L=23.4km 農道延長L=6.8km</li> <li>・農地・農業用施設の長寿命化等に取り組む活動                          水路やゲート類の保守管理と補修</li> <li>・農村環境の保全活動                          農地周りの生きもの調査や小学生の体験学習の開催</li> </ul>
連携団体等	県, 市町村, 土地改良区, 学校, 自治会等
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>資源保全活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施設の長寿命化に取り組む活動</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>生きもの調査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>資源保全活動</p> </div> </div>	
取組の点検	各活動組織の活動計画に基づき、毎年実施されている。
今後の取組目標	各活動組織の活動対象農地面積を維持すること。

報告団体等 県農村振興課





# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	笠島ふる里集落資源保全隊 ほか
対象流域	北上川流域・鳴瀬川流域 <b>名取川流域</b>
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・安全な流れ・ <b>豊かな生態系</b>
活動事業名	農地・水保全管理支払交付金
取組の目的	農地・農業用水等の資源は、地域共同の活動により保全管理されてきたところであるが、衰退する地域主体の保全管理の取り組みを強化するため、資源の保全管理活動や農村環境の保全活動、農地周りの農業用施設の長寿命化等に取り組む活動組織を支援するもの。
実施場所	名取市
事業期間	平成19年度～
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b>                      (笠島ふる里集落資源保全隊の一例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地・農業用水等の資源保全活動                          農地面積A=191.2ha 水路延長L=45.4km 農道延長L=16.7km ため池4か所</li> <li>・農地・農業用施設の長寿命化等に取り組む活動                          各施設の機能診断を基に水路や法面等の補修を実施</li> <li>・農村環境の保全活動                          農地周りの生きもの調査や花いっぱい運動、クリーンキャンペーン等の開催</li> </ul>
連携団体等	県, 市町村, 土地改良区, 学校, 自治会等
取組状況の結果・写真・図表等	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>法面・路肩の草刈り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>農道への砂利の補充</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>芝桜の植栽・手入れ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クリーンキャンペーン</p> </div> </div>	
取組の点検	各活動組織の活動計画に基づき、毎年実施されている。
今後の取組目標	各活動組織の活動対象農地面積を維持すること。

報告団体等 県農村振興課



# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城県(自然保護課)		
対象流域	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">北上川流域</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">鳴瀬川流域</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">名取川流域</span>		
取組分類	清らかな流れ ・ 豊かな流れ ・ 安全な流れ ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">豊かな生態系</span>		
活動事業名	みやぎの里山林協働再生支援事業		
取組の目的	企業のCSR活動を主体とした県民参加による里山林整備の促進		
実施場所	利府町, 富谷町ほか県内全域		
事業期間	平成20年度 ～		
取組の概要	<p><b>【平成24年度の主な取組】</b></p> <p>里山林は、幾世代にもわたって自然と共生した農林業が営まれることで形成された、身近で持続可能な生物多様性に富んだ自然空間ですが、近年は手入れが行き届かずに荒れつつあります。一方では、環境問題への関心が高まる中、環境に配慮した社会貢献の一環として森林づくりに取り組む企業等が増えています。このため県は、「みやぎの里山林協働再生支援事業」を通して、森林づくり活動を行おうとする企業等と、活動の場が提供できる森林所有者との橋渡し役となって里山林の整備を支援しています。</p>		
連携団体等	森林所有者, 企業及び団体, 特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会等		
取組状況の結果・写真・図表等			
○平成24年度の企業等による里山林整備活動の新規協定状況			
市町村	件数	面積(ha)	活動内容
南三陸町	1	10.61	間伐
仙台市泉区	1	1.00	植林・下刈り
計	2	11.61	
○企業等による里山林整備活動の実施状況(事例)			
     			
取組の点検	取組内容の認知拡大と拡充を図る必要がある。		
今後の取組目標	より多くの企業等の参画を促進し、県民参加による森づくりと取組を通じた自然環境教育を推進する。		

報告団体等                      県自然保護課

# 流域水循環計画取組状況

平成24年度

団体名称	宮城県(北部土木事務所)					
対象流域	北上川流域・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">鳴瀬川流域</span> ・名取川流域					
取組分類	清らかな流れ・豊かな流れ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">安全な流れ</span> ・豊かな生態系					
活動事業名	多田川広域河川改修事業(大江川工区)					
取組の目的	多田川流域の洪水被害の防止など、治水安全率の向上					
実施場所	鳴瀬川水系 多田川 大江川 大崎市古川南地区					
事業期間	平成4年度～平成50年度【多田川全体】(平成10年度～平成32年度【大江川工区】)					
取組の概要	【平成24年度の主な取組】					
	鳴瀬川流域水循環計画内の河川改修事業は、下記のとおり実施しています。					
	事業名	事業規模	事業概要	H21事業費	進捗率	
	多田川河川改修事業 (大江川工区)	4,500m	築堤・護岸	20,000,000円	72.9%	
連携団体等	国土交通省					
取組状況の結果・写真・図表等						
◎管理指標の経過						
		H17	H18	H19	H20	H21
	多田川流域の整備率	28%	28%	29%	29%	29%
◎代表例						
<p>＜大江川の概要＞</p> <p>大江川は、多田川の内水河川であり、上流からの流入とともに市街地からの流出により、毎回のように入水被害に見舞われている。このため、大崎市の下水道計画と整合を図りつつ、国道4号バイパス西側に捷水路を掘削し、古川南土地区画整理事業等のまちづくりと一体となった整備を行っている。</p>						
取組の点検		大江川改修事業については、他河川への集中投資等に伴い、平成22年度～平成24年度まで休止の状況である。				
						今後の取組目標
		平成25年度より事業再開の予定であり、重点投資等、早期完成に向け事業促進を図る。				



土地区画整理と一体とした整備

